



6月20日(木) A会場(札幌コンベンションセンター 1F 特別会議場)

8:30-10:30

一般シンポジウム 1

精神科医療においてロボットがこれから治療場面で果たしていく役割

司会：村松 太郎

慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

松本 吉央

東京理科大学／先進工学部機能デザイン工学科

S1-1 精神科デイケアにおける傾聴対話ロボットの研究開発と実証実験

○河原 達也、越智 景子

京都大学情報学研究科

S1-2 ハグすることで安心感を与えるロボットの開発

○塩見 昌裕

株式会社国際電気通信基礎技術研究所

S1-3 精神科治療を目指したロボット研究の現状

○熊崎 博一

長崎大学医学部精神神経科学教室

S1-4 OECD 2030 子どもの未来解決のためのロボットを利用した SEL プロジェクトの試み

○宮尾 益知

どんぐり発達クリニック

S1-5 ロボット面接導入により転移・逆転移から解放される未来の精神医療

○加藤 隆弘¹、松島 敏夫¹、松尾 敬太郎¹、吉川 雄一郎²、熊崎 博一³

¹九州大学大学院医学研究院精神病態医学、²大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻、

³長崎大学医学部精神神経科学教室

〔指定発言者〕

○吉川 雄一郎

大阪大学大学院基礎工学研究科

〔指定発言者〕

○神庭 重信

社会医療法人栗山会飯田病院精神科／日本うつ病センター

〈メインコーディネーター〉 熊崎 博一

長崎大学医学部精神神経科学教室

〈サブコーディネーター〉 河原 達也

京都大学情報学研究科

加藤 隆弘

九州大学大学院医学研究院精神病態医学／

九州大学病院集学的痛みセンター

10:45-11:45 **教育講演 1**

司会：高橋 英彦 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

EL1 学術出版における学会誌の役割～ PCN が目指すもの

○加藤 忠史
順天堂大学11:45-12:45 **教育講演 2**

司会：中村 和彦 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

EL2 真に役立ち明日から実施可能な患者の睡眠・生活リズムの調整法

○三島 和夫
秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座13:25-14:25 **教育講演 4**

司会：村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

EL4 統合失調症の理解と支援のこれまでとこれから

○笠井 清登
東京大学大学院医学研究科精神医学14:25-15:25 **教育講演 5**

司会：内海 久美子 砂川市立病院

EL5 Prodromal 期の DLB における精神症状の特徴と治療のポイント

○池田 学
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室



15:40-17:40 **一般シンポジウム 26**

精神医学領域における生成 AI (ChatGPT を含む) の活用：業務効率化から自殺予防研究まで

司会： **松井 健太郎** 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部
香田 将英 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療共育推進オフィス

S26-1 生成 AI を用いた精神科臨床研究の事例紹介

○宋 龍平^{1,2,3}

¹岡山県精神科医療センター、²株式会社 CureApp、³Scientific Research WorkS Peer Support Group

S26-2 教育における生成 AI の実践的活用法

○香田 将英

岡山大学学術研究院医歯薬学域地域医療共育推進オフィス

S26-3 研究における生成 AI の実践的活用法

○吉田 和生^{1,2}

¹慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門、

²Molecular Science, Centre for Addiction and Mental Health, Toronto, Canada

S26-4 生成 AI の現在と今後の展望

○松井 健太郎

国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部

〈メインコーディネーター〉 松井 健太郎 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部

〈サブコーディネーター〉 吉田 和生 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門 /
Molecular Science, Centre for Addiction and Mental Health, Toronto, Canada

香田 将英 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
地域医療共育推進オフィス

6月20日(木) B会場(札幌コンベンションセンター 1F 大ホール A)

8:30-10:30 **委員会企画シンポジウム 1** (産業保健に関する委員会)

精神障害の労災認定基準改正を機に医師の働き方改革や職域の自殺予防、そして現場でできる介入を考える

司会：井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学
吉村 玲児 産業医科大学医学部精神医学教室

CS1-1 職域を中心とした検討すべき精神医療的対応について

○坪井 貴嗣
杏林大学医学部精神神経科学教室

CS1-2 職場のメンタルヘルス支援：アジェンダと求められるタスクとの「ギャップ」という実状

○河西 千秋¹、津山 雄亮²
¹札幌医科大学医学部神経精神医学講座、²札幌医科大学保健管理センター

CS1-3 医師の働き方改革をどう進める

○林 修一郎
厚生労働省医政局医事課

CS1-4 精神障害の労災補償の動向と課題～新認定基準を踏まえて～

○黒木 宣夫
医療法人社団宣而会勝田台メディカルクリニック

〔指定発言者〕

○田中 建一
東洋大学

〈メインコーディネーター〉 坪井 貴嗣 杏林大学医学部精神神経科学教室
〈サブコーディネーター〉 井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学
吉村 玲児 産業医科大学医学部精神医学教室

10:45-12:45 能登地震の現状と支援状況・課題に関する緊急シンポジウム

2024年能登半島地震の被災地における精神保健医療の状況

司会：富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野／東北大学病院精神科／
東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野／
東北大学東北メディカル・メガバンク機構
大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

ES1 石川県全体の被災概要と能登半島の精神科医療の背景

○菊知 充
金沢大学医学部附属病院神経科精神科



ES2 災害拠点精神科病院の取り組みと被災高齢者の精神保健・医療

○北村 立
石川県立こころの病院

ES3 発災直後の石川県全体の精神保健対応

○角田 雅彦
石川県こころの健康センター

ES4 ローカル DPAT の取り組み

○青木 達之
医療法人社団青樹会青和病院日本精神科病院協会石川県支部長

ES5 石川県・金沢大学と連携した被災地域の学校における精神保健

○辻井 正次
中京大学現代社会学部

〈メインコーディネーター〉 富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野／
東北大学病院精神科／
東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野／
東北大学東北メディカル・メガバンク機構
大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

13:25-15:25 一般シンポジウム 17
精神科医・産業医の意見申述 その方法と倫理

司会：井原 裕 獨協医科大学埼玉医療センター
岩井 圭司 大阪人間科学大学人間科学部

S17-1 精神科医・産業医の意見申述 その技術と限界

○井原 裕
獨協医科大学埼玉医療センター

S17-2 産業医と生きた法 ～信頼される産業医を考える～

○三柴 丈典^{1,2}
¹近畿大学、²日本産業保健法学会

S17-3 産業医による会社への意見

○神田橋 宏治
合同会社DB-Seed

S17-4 産業医と臨床医（主治医）の確かな対話のために

○岩井 圭司^{1,2}

¹ 大阪人間科学大学人間科学部医療福祉学科、² 阪本美佐子メンタルクリニック

〈メインコーディネーター〉 井原 裕 獨協医科大学埼玉医療センター

〈サブコーディネーター〉 岩井 圭司 大阪人間科学大学人間科学部

15:40-17:40 一般シンポジウム 27

市販薬乱用・依存の実態・治療・対策～いま若者たちに何が起きているのか？

司会：成瀬 暢也

埼玉県立精神医療センター

松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

S27-1 実態調査と臨床現場から紐解く市販薬使用の問題

○沖田 恭治

国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

S27-2 市販薬の販売に従事する薬局薬剤師に向けたゲートキーパートレーニング

○嶋根 卓也、片山 宗紀

国立精神・神経医療研究センター

S27-3 監察医務院から見た市販薬中毒死の実態

○松本 俊彦¹、引地 和歌子²

¹ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部、² 東京都観察医務院

S27-4 我が国における若者の市販薬過量服用の実態

○上條 吉人

埼玉医科大学医学部臨床中毒学

〈メインコーディネーター〉 松本 俊彦 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所薬物依存研究部

〈サブコーディネーター〉 成瀬 暢也 埼玉県立精神医療センター



6月20日(木) C会場(札幌コンベンションセンター 1F 中ホール A)

8:30-10:30

一般シンポジウム 2

ガイドライン+α：プロフェッショナルな薬物療法を目指して

司会：竹林 実
中川 伸

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座
山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

S2-1 統合失調症における抗精神病薬の持効性注射薬の役割

○伊豫 雅臣

千葉大学大学院医学研究院精神医学教室

S2-2 せん妄の薬物療法

○八田 耕太郎

順天堂大学医学部附属練馬病院

S2-3 気分安定薬

○寺尾 岳

大分大学医学部精神神経医学講座

S2-4 プロフェッショナルな薬物療法の試金石としての、クロザピン

○宮田 量治

地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院

S2-5 薬物療法とニューロモデュレーションによるコンビネーション治療

○竹林 実

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 竹林 実

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 中川 伸

山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

10:45-12:45

一般シンポジウム 9

精神科医療におけるギフテッドの視点

司会：池澤 聡
三村 将

国際医療福祉大学三田病院／国立精神・神経医療研究センター／東京大学大学院総合文化研究科
慶應義塾大学予防医療センター

S9-1 ギフテッドと自閉スペクトラム症：共生か矯正か

○山末 英典

浜松医科大学

S9-2 最新のテクノロジーを用いたギフテッド特性を考慮した精神科患者支援

○熊崎 博一

長崎大学医学部精神神経科学教室

S9-3 ギフテッドの特徴を持つ人々の実態と支援のあり方

○池澤 聡^{1,2,3}

¹ 国際医療福祉大学三田病院、² 国立精神・神経医療研究センター、
³ 東京大学大学院総合文化研究科

S9-4 神経発達症の臨床では「能力」より「選好性」の方が重要である

○本田 秀夫^{1,2,3}

¹ 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、² 信州大学附属病院子どものこころ診療部、
³ 長野県発達障がい情報・支援センター

S9-5 「異才」から「個才」への価値転換の重要性

○福本 理恵

株式会社 SPACE

〔指定発言者〕

○三村 將

慶應義塾大学予防医療センター

〔指定発言者〕

○太田 晴久

昭和大学発達障害医療研究所／昭和大学附属烏山病院

〈メインコーディネーター〉 池澤 聡 国際医療福祉大学三田病院／
国立精神・神経医療研究センター／
東京大学大学院総合文化研究科

〈サブコーディネーター〉 熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室

13:25-15:25 **委員会企画シンポジウム7**（精神療法研修委員会）
コンサルテーション・リエゾン場面における精神療法について

司会：原田 誠一 原田メンタルクリニック
岩木 久満子 顕メンタルクリニック

CS7-1 身体疾患患者の精神療法に必要な基礎理論

○渡辺 俊之

渡辺医院 / 高崎西口精神療法研修室

CS7-2 内科医から見たリエゾン・コンサルテーション活動の課題

○岸本 寛史

静岡県立総合病院

CS7-3 コンサルテーション・リエゾン精神医学と森田療法

○館野 歩

東京慈恵会医科大学精神医学講座



CS7-4 コンサルテーション・リエゾン領域における認知行動療法の活用と今後の展望

○久我 弘典

国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター

CS7-5 救急医療で出会う自殺企図者とその家族との精神療法

○衛藤 暢明

福岡大学医学部精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 岩木 久満子 顕メンタルクリニック

〈サブコーディネーター〉 池田 暁史 大正大学心理社会学部臨床心理学科／個人開業

15:40-17:40 一般シンポジウム 28

現場を変えうるせん妄研究最前線

司会： 八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院
岸 泰宏 日本医科大学武蔵小杉病院

S28-1 スボレキサントのせん妄予防に関する多施設共同第Ⅲ相プラセボ対照二重盲検ランダム化比較試験の結果報告

○八田 耕太郎¹、岸 泰宏²、和田 健³、竹内 崇⁴、平 俊浩⁵、上村 恵一⁶、小川 朝生⁷、高橋 香苗⁸、佐藤 麻子⁸、白川 将義⁸、Herring W. Joseph⁹、新野 伊知郎⁸

¹順天堂大学医学部附属練馬病院、²日本医科大学武蔵小杉病院、³広島市立広島市民病院、

⁴東京医科歯科大学病院、⁵福山市民病院、⁶斗南病院、⁷国立がん研究センター東病院、

⁸MSD 株式会社、⁹Merck & Co., Inc.

S28-2 せん妄対策の医療全体への Value

○岸 泰宏、大山 覚照、内山 翔太郎

日本医科大学武蔵小杉病院

S28-3 せん妄予防におけるラメルテオンの位置づけ - 高齢者を対象とした多施設共同による有効性の検証 -

○榎戸 正則

国立がん研究センター東病院精神腫瘍科

S28-4 せん妄検出および予後予測に関する生理学的・薬理学的アプローチ

○篠崎 元

スタンフォード大学医学部精神科

〔指定発言者〕

○西村 勝治

東京女子医科大学医学部精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院

〈サブコーディネーター〉 岸 泰宏 日本医科大学武蔵小杉病院

6月20日(木) D会場(札幌コンベンションセンター 1F 中ホール B)

8:30-10:30 **一般シンポジウム 3**
従来の精神疾患の背景に潜む、大人のトラウマへの対応

司会：青木 省三 慈圭会精神医学研究所
武井 明 市立旭川病院精神神経科

S3-1 不安・抑うつ背景にあるトラウマに気づき治療・支援する

○武井 明
市立旭川病院精神科

S3-2 精神病の背景にあるトラウマに気づき、治療・支援する

○鷺田 健二
公益財団法人慈圭会慈圭病院

S3-3 依存症の背景にあるトラウマに気づき治療・支援する

○小林 桜児
神奈川県立精神医療センター

S3-4 一般臨床で大人のトラウマへの気づきと支援

○村上 伸治
川崎医科大学精神科学教室

〔指定発言者〕

○山登 敬之
明治大学子どもこころクリニック

〈メインコーディネーター〉 青木 省三 慈圭会精神医学研究所
〈サブコーディネーター〉 武井 明 市立旭川病院精神神経科

10:45-12:45 **一般シンポジウム 10**
Long COVID に潜む身体症状症—内科医および精神科医の視点から—

司会：富永 敏行 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学
名越 泰秀 京都第一赤十字病院精神科

S10-1 森田療法の Medically Unexplained Symptoms への活用

○田所 重紀
札幌医科大学医学部神経精神医学講座

S10-2 内科医から見た Long COVID による身体症状

○尾本 篤志
京都第一赤十字病院総合内科



S10-3 Long COVID に関連する身体症状を認知行動モデルで捉える

○富永 敏行

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

S10-4 Long COVID を身体症状として治療することの意義

○名越 泰秀

京都第一赤十字病院精神科

〈メインコーディネーター〉 富永 敏行

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

〈サブコーディネーター〉 名越 泰秀

京都第一赤十字病院精神科

13:25-15:25 **委員会企画シンポジウム 8** (男女共同参画委員会)

精神疾患をもつ女性と子育て—困難に寄り添う支援を考える

司会： 赤崎 安昭

鹿児島大学医学部保健学科

榎戸 芙佐子

医療法人社団和敬会谷野呉山病院

CS8-1 てんかんをもつ女性の子育てをどう支援するか

○渡辺 雅子

医療法人社団千紫会新宿神経クリニック

CS8-2 統合失調症合併妊産婦の支援

○竹内 崇

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野リエゾン精神医学・精神腫瘍学担当

CS8-3 うつ病 / うつ状態の母親と子育て — 刑事精神鑑定例から得られた教訓を臨床に生かす—

○赤崎 安昭

鹿児島大学医学部保健学科

CS8-4 支援を拒否するパーソナリティ障害事例への育児支援

○安藤 久美子

聖マリアンナ医科大学

〈メインコーディネーター〉 赤崎 安昭

鹿児島大学医学部保健学科

〈サブコーディネーター〉 榎戸 芙佐子

医療法人社団和敬会谷野呉山病院

15:40-17:40 **一般シンポジウム 29**

患者からその子どもへ：精神科主治医の気づきから広がるヤングケアラー支援

司会：井上 猛 東京医科大学精神医学分野

S29-1 「親のうつ病」を子どもはいかに体験するか：
子どものヤングケアラー化のプロセスに注目して

○佐藤 みのり
お茶の水女子大学

S29-2 ヤングケアラー経験が成人移行期のメンタルヘルスに与える影響

○小野 美樹
東京医科大学精神医学分野

S29-3 ヤングケアラーの概要と日本の状況

○澁谷 智子
成蹊大学

S29-4 精神疾患を有する親と子ども・家族への支援：Let's Talk about Children

○上野 里絵
東都大学

〔指定発言者〕

○北野 陽子
NPO 法人ぷるすあるは

〈メインコーディネーター〉 井上 猛 東京医科大学精神医学分野



6月20日(木) E会場(札幌コンベンションセンター 1F 104+105 会議室)

13:25-15:05 **ワークショップ2**

対応困難例における効果的なリエゾンとはーより早期から、幅広く、能動的にー【事前申込制】

司会： 柏木 智則 札幌医科大学医学部神経精神医学講座
五十嵐 江美 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

WS2 <講演者> 井上 真一郎 新見公立大学健康科学部看護学科
福本 健太郎 岩手医科大学精神科神経科学講座
石橋 竜太郎 札幌医科大学医学部神経精神医学講座
<メインコーディネーター> 柏木 智則 札幌医科大学医学部神経精神医学講座
<サブコーディネーター> 五十嵐 江美 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

15:40-17:20 **ワークショップ3**

精神科医が脳波を学ぶ～基礎と臨床～

司会： 矢部 博興 福島県立医科大学・こころと脳の医学講座
原 恵子 原クリニック

WS3 <講演者> 矢部 博興 福島県立医科大学・こころと脳の医学講座
原 恵子 原クリニック
渡邊 さつき 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
高木 俊輔 東京医科歯科大学精神行動医学科学分野
<メインコーディネーター> 矢部 博興 福島県立医科大学・こころと脳の医学講座
<サブコーディネーター> 山内 俊雄 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
原 恵子 原クリニック

6月20日(木) F会場(札幌コンベンションセンター 1F 107 会議室)

8:30-10:30 一般シンポジウム 4

ポストコロナ時代における不安症の展望と課題～国民のメンタルヘルスにどう関わっていくのか～

司会：松永 寿人 兵庫医科大学医学部精神科神経科学講座
清水 栄司 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

S4-1 ポストコロナ時代における強迫症の展望と課題
～国民のメンタルヘルスにどう関わっていくのか～

○松永 寿人
兵庫医科大学医学部精神科神経科学講座

S4-2 ポストコロナ時代における社交不安症

○朝倉 聡
北海道大学保健センター

S4-3 ポストコロナ時代における全般不安症の展望と課題

○大坪 天平
東京女子医科大学附属足立医療センター心療・精神科

S4-4 ポストコロナ時代におけるパニック症の展望と課題

○塩入 俊樹
岐阜大学大学院医学系研究科精神医学分野

S4-5 ポストコロナ時代のトラウマと不安

○金 吉晴
国立精神・神経医療研究センター

〔指定発言者〕

○清水 栄司
千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

〈メインコーディネーター〉 松永 寿人 兵庫医科大学医学部精神科神経科学講座

〈サブコーディネーター〉 塩入 俊樹 岐阜大学大学院医学系医学科精神医学分野

10:45-12:45 Fellowship Award Symposium 1 (国際委員会)
～ Suicide Prevention (自殺予防) ～

司会： Junko Kitaoka Tarumi Hospital

FAS1-1 A Troubled Past; Young men and suicidality in Northern Ireland

○Cedar Andress
Royal college of psychiatrists northern ireland, UK



FAS1-2 **Suicidality in wartime in Ukraine. Comparison of the effectiveness of providing psychological assistance during the war through chat and telephone calls to a HotLine.**

○Kateryna Shyliuk

Kyiv City Psychiatric Hospital No. 1, Ukraine

FAS1-3 **Anatomy of Suicide in the Philippines: The cultural role of shame (“hiya”) in suicidal behaviors**

○Anna Sharmie Quezon-Santos

Philippine Psychiatric Association, Philippines

FAS1-4 **Suicide Prevention in Japan**

○Takuji Izuno

Kanagawa Psychiatric Center, Japan

〈メインコーディネーター〉 伊井 俊貴 愛知医科大学病院
〈サブコーディネーター〉 秋山 剛 NTT 東日本関東病院

13:25-15:25 **Fellowship Award Symposium 2** (国際委員会)
～ Suicide Prevention (自殺予防) ～

司会： **Rikako Tsuji** Urawa Psychiatric Sanatorium Hospital

FAS2-1 **Understanding and addressing suicide in Iran: a multifaceted challenge and promising strategies**

○Mahtab Motamed

Tehran University of Medical Sciences, Psychiatry Department, Iran

FAS2-2 **Suicide Prevention in England: Psychiatrists’ role in the new 5 year cross-sector strategy**

○Roxanne Keynejad

King’s College London and South London and Maudsley NHS Foundation Trust, UK

FAS2-3 **Suicidal Ideation beyond COVID-19 in Hong Kong: The Role of Resilience, Loneliness, Coping Strategies, and Implications for Prevention**

○Ka Ying Heidi Lo

Department of Psychiatry, Li Ka Shing Faculty of Medicine, University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China

FAS2-4 **Three Efforts to Prevent Suicides of Hokkaido University Students**

○Fumiya Miyano

Department of Psychiatry, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Japan

〈メインコーディネーター〉 伊井 俊貴 愛知医科大学病院
〈サブコーディネーター〉 秋山 剛 NTT 東日本関東病院

15:40-17:40 **Fellowship Award Symposium 3** (国際委員会)
～ Suicide Prevention (自殺予防) ～

司会： Fumiya Miyano Hokkaido Kouyogaoka Hospital

FAS3-1 AI-Driven Early Detection of Suicidal Ideation in Slovenia: A Focus on the Post-Pandemic Era

○Polona Rus Prelog

University Psychiatric Clinic Ljubljana / Centre for Clinical Psychiatry, Slovenia

FAS3-2 Suicide Trends and Risk Factors in District Skardu, Gilgit-Baltistan: A 2022 Analysis

○Shahida Batool

Health department Gilgit Baltistan, Pakistan

FAS3-3 Community Connections: The Role of Health Tech and Telemedicine in Reducing Suicide in the Digital Age

○Joseph Truett

Lyra Health, USA

FAS3-4 Suicide prevention - the impact of stress symptoms and strategies for its management

○Toshinori Chiba

Advanced Telecommunications Research Institute (ATR), Japan

〈メインコーディネーター〉 伊井 俊貴 愛知医科大学病院

〈サブコーディネーター〉 秋山 剛 NTT 東日本関東病院



6月20日(木) G会場(札幌コンベンションセンター 1F 108 会議室)

8:30-10:30 一般シンポジウム 5

いま、統合失調症診断の際に留意すべき疾患・状態 - 症状や病態の近似と類似 -

司会：尾関 祐二 滋賀医科大学
高木 学 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

S5-1 解離症と統合失調症の鑑別

○柴山 雅俊
株式会社商船三井医務室

S5-2 統合失調症と自己免疫性精神病におけるシナプス自己抗体

○塩飽 裕紀
東京医科歯科大学大学院精神行動医科学分野

S5-3 老年期における精神病性障害の神経変性基盤

○横田 修^{1,2,3}、三木 知子⁴、石津 秀樹⁵、安田 華枝⁵、原口 俊⁶、寺田 整司⁷、
高木 学⁷

¹きのこエスポール病院精神科、²岡山大学医学部、³岡山大学大学院精神神経病態学、
⁴岡山大学病院精神科神経科、⁵慈圭病院精神科、⁶NHO 南岡山医療センター脳神経内科、
⁷岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

S5-4 統合失調症と自閉スペクトラム症の共通点と相違点

○牧之段 学
藤田医科大学精神神経科学講座

〈メインコーディネーター〉 尾関 祐二 滋賀医科大学
〈サブコーディネーター〉 高木 学 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

10:45-12:45 一般シンポジウム 11

多職種協働で共有するために、名もない仕事に名前を付けていこう！

司会：佐久間 寛之 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター
射場 亜希子 兵庫県立はりま姫路総合医療センター

S11-1 看護師は身近な存在ですか？

○阿部 かおり
独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

S11-2 総合病院での連携づくり

○射場 亜希子
兵庫県立はりま姫路総合医療センター

S11-3 我々を支える「名もなき仕事」の貢献

○入来 晃久

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター

S11-4 より良い治療からより良い生き方につなげるために

○岡村 真紀

医療法人信和会高嶺病院

〔指定発言者〕

○齋藤 利和

社会医療法人博友会平岸病院／札幌医科大学

〈メインコーディネーター〉 長 徹二 一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん

〈サブコーディネーター〉 佐久間 寛之 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

入来 晃久 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター

13:25-15:25 一般シンポジウム 18

社会認知機能（他者の意図や感情を理解する力）をどう評価し、臨床に活かすか

司会：橋本 直樹

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

根本 隆洋

東邦大学医学部精神神経医学講座／東邦大学医学部社会実装精神医学講座

S18-1 社会認知の構造：因子分析から見えた2因子構造

○久保田 涼太郎

国立精神神経医療研究センター病院司法精神診療部

S18-2 社会認知の障害分類：クラスター分析から見えた主観的困難感と客観的能力のパターン

○内野 敬

東邦大学医学部社会実装精神医学講座

S18-3 社会認知による予測：機械学習から見えた予測モデル

○陳 冲¹、大久保 亮²

¹ 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座、² 独立行政法人国立病院機構帯広病院精神科



S18-4 社会認知の測定：web版社会認知機能検査の紹介

○大久保 亮^{1,2}

¹ 独立行政法人国立病院機構帯広病院精神科、

² 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

〔指定発言者〕

○池澤 聡

国際医療福祉大学三田病院／国立精神・神経医療研究センター／東京大学大学院総合文化研究科

〈メインコーディネーター〉 根本 隆洋

東邦大学医学部精神神経医学講座／

東邦大学医学部社会実装精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 橋本 直樹

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野
精神医学教室

大久保 亮

独立行政法人国立病院機構帯広病院精神科／
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野
精神医学教室

15:40-17:40 一般シンポジウム 30

若者のメンタルヘルス問題の現実と対応：大学キャンパスを拠点に

司会：安宅 勝弘

東京工業大学保健管理センター

太刀川 弘和

筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

S30-1 大学生の死亡状況調査と休学・退学実態調査について

○安宅 勝弘

東京工業大学保健管理センター

S30-2 保健管理センターによる大学生のメンタルヘルス支援の実際

○津山 雄亮^{1,2}、松浦 久美子²、河西 千秋^{1,2}

¹ 札幌医科大学医学部神経精神医学講座、² 札幌医科大学保健管理センター

S30-3 大学の自殺予防対策：今後の取り組みに向けて

○太刀川 弘和^{1,2}

¹ 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、² 茨城県立こころの医療センター

S30-4 大学の発達障害支援：グループプログラムを活用した支援

○丸田 伯子

一橋大学保健センター

〈メインコーディネーター〉 安宅 勝弘

東京工業大学保健管理センター

〈サブコーディネーター〉 太刀川 弘和

筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

6月20日(木) H会場(札幌コンベンションセンター 2F 小ホール)

8:30-10:30 **委員会企画シンポジウム2** (研究倫理委員会)

[日本精神神経学会倫理教育研修会対象セッション]

当事者参加型の倫理委員会の実現に向けて：当事者・家族・医療者からの工夫と提案

司会：夏苺 郁子 やきつべの径診療所
村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学)

CS2-1 当事者参加型の倫理委員会に向けて

○鬼頭 伸輔

国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

CS2-2 当事者参加型の倫理委員会の実現に向けて： 当事者家族の立場から思う工夫と提案

○塚本 弥生

岡崎地域精神障害者家族会

CS2-3 当事者の福利を実現する倫理審査委員会とは

○飯島 祥彦

藤田医科大学

CS2-4 障害者団体における倫理審査委員会設置について

○山田 悠平

一般社団法人精神障害当事者会ポルケ

CS2-5 ピアサポーターとしての経験と実践から考える倫理審査委員会の実現

○亀沖 昌睦

特定非営利活動法人日本双極性障害団体連合会

〈メインコーディネーター〉 夏苺 郁子 やきつべの径診療所

〈サブコーディネーター〉 村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座
(精神医学)

※参加された方のうち希望者に「倫理教育研修会修了証」を発行いたします。

※専門医機構認定共通講習とは異なります。



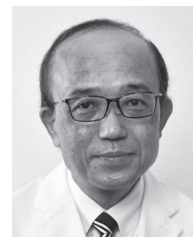
10:45-11:45 **教育講演 3**

司会：本多 奈美 東北大学大学院教育学研究科教育心理学講座

EL3 **大人のADHDをめぐって**

○傳田 建三

特定医療法人社団慈藻会平松記念病院



11:45-12:45 **先達に聴く 1**

司会：井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

PM1 **摂食障害と取り組んで43年—外来治療を中心に—**

○切池 信夫^{1,2}

¹ 微風会浜寺病院、² なにわ生野病院



13:25-14:25 **先達に聴く 2**

司会：河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

PM2 **精神医学史における単一精神病論**

○松下 正明

東京大学名誉教授



14:25-15:25 **先達に聴く 3**

司会：田所 重紀 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

PM3 **真に役立つ森田療法—レジリエンスを育て引き出す視点から**

○北西 憲二

森田療法研究所・北西クリニック



15:40-17:40 **委員会企画シンポジウム 10** (児童精神科医療研修委員会)
こどもの自殺をめぐって

司会： 今村 明 長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学分野／長崎大学子どもの心の医療・教育センター
佐々木 剛 千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部・精神神経科

CS10-1 **発達障害と自殺**

○岡田 俊
奈良県立医科大学精神医学講座

CS10-2 **ネット環境と自殺**

○今村 明^{1,2}、山本 直毅³、疋田 琳³、徳永 瑛子^{1,2}、岩永 竜一郎^{1,2}、熊崎 博一³
¹長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学分野、²長崎大学子どもの心の医療・教育センター、
³長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部

CS101-3 **自殺防止のための新たな試み**

○佐々木 剛
千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部・精神神経科

CS10-4 **虐待・いじめと自殺**

○笠原 麻里
医療法人財団青溪会駒木野病院

〔指定発言者〕

○八木 淳子
岩手医科大学医学部神経精神科学／岩手医科大学附属病院児童精神科

〈メインコーディネーター〉 岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 今村 明 長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学分野／
長崎大学子どもの心の医療・教育センター
佐々木 剛 千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部・
精神神経科



6月20日(木) | 会場(札幌コンベンションセンター 2F 204 会議室)

8:30-10:30 委員会企画シンポジウム3 (薬事委員会)

向精神薬は本当に有益か? - 向精神薬の有効性と安全性のエビデンスはどのように評価されるべきか -

司会: 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

CS3-1 睡眠薬は本当に有益か?

○三島 和夫
秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

CS3-2 抗うつ薬の有効性と安全性はどのように評価されるべきか

○堀 輝
福岡大学医学部精神医学教室

CS3-3 ADHD 治療薬の効果と必要性の判断

○安田 由華^{1,2,3}
¹医療法人フォスター生きる育む輝くメンタルクリニック Neo 梅田茶屋町、
²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、
³大阪精神科診療所協会

CS3-4 向精神薬の有効性と安全性評価の基礎

○古郡 規雄
獨協医科大学精神神経医学講座

CS3-5 統合失調症治療薬(抗精神病薬)の有効性と安全性の評価

○稲田 健
北里大学医学部精神科学

〈メインコーディネーター〉 古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座
〈サブコーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
精神疾患病態研究部

10:45-12:45 委員会企画シンポジウム6 (摂食障害治療に関する特別委員会)

神経性やせ症: 発症早期から慢性期までの包括的な精神科治療

司会: 永田 利彦 なんばながたメンタルクリニック
西園マーハ文 明治学院大学心理学部

CS6-1 神経性やせ症のスタンダードな心理療法の実装化に向けて

○中里 道子^{1,2}
¹国際医療福祉大学医学部精神医学、²千葉大学大学院医学研究院精神医学

CS6-2 地域の砦である公立病院での摂食障害治療～松沢病院多職種チームの取り組み

○鈴木 一恵¹、西園 マーハ文⁷、上野 聖晃²、横田 敬子³、向畑 順子³、濱中 恵子⁴、
浦 明日香⁵、中島 篤正⁶、水野 雅文²

¹ 東京都立松沢病院内科、² 東京都立松沢病院精神科、³ 東京都立松沢病院栄養科、

⁴ 東京都立松沢病院心理室、⁵ 東京都立松沢病院薬剤科、⁶ 東京都立松沢病院看護部、

⁷ 明治学院大学心理学部心理学科

CS6-3 神経性やせ症からの回復～自験例を通じた考察

○三井 信幸

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

CS6-4 児童思春期の摂食障害の診療の課題

○竹林 淳和

浜松医科大学医学部附属病院精神神経科

CS6-5 慢性重症化した神経性やせ症患者の実態とその絶望死をどう防ぐのか

○山田 恒

兵庫医科大学精神科神経科学講座

〈メインコーディネーター〉 永田 利彦 なんばながたメンタルクリニック

〈サブコーディネーター〉 西園マーハ文 明治学院大学心理学部

13:25-15:25 一般シンポジウム 19**摂食障害支援拠点病院の拡がり課題**

司会：小坂 浩隆

福井大学医学部精神医学

河合 啓介

国立国際医療研究センター国府台病院心療内科

S19-1 福井県における摂食障害支援拠点病院の設立に至るまでの取り組み

○幅田 加以瑛¹、眞田 陸¹、牧野 拓也¹、水野 有香¹、小和田 航太郎¹、浅岡 浩平¹、
宗宮 有佑¹、川妻 加奈¹、黒田 裕康¹、野澤 唯¹、村島 萌子¹、東 拓磨¹、
渡真利 眞治¹、今成 英司¹、福元 進太郎¹、石橋 知明¹、上野 幹二¹、水野 智之¹、
大森 一郎¹、鈴木 太^{2,3}、小坂 浩隆¹

¹ 福井大学医学部精神医学、² 福井大学子どものこころの発達研究センター地域こころの支援部門、

³ 上林記念病院こども発達センターあおむし

S19-2 静岡県摂食障害支援拠点病院－これまでの取り組みと今後の課題－

○竹林 淳和

浜松医科大学医学部附属病院精神神経科

S19-3 摂食障害治療の新たな支援体制：相談ほっとラインの成果と今後の展望

○河合 啓介

国立国際医療研究センター国府台病院心療内科



S19-4 石川県摂食障害支援拠点病院 1年の歩みと課題

○佐野 滋彦、宮岸 良彰、水上 喜美子、菊知 充
金沢大学附属病院神経科精神科

〔指定発言者〕

○関口 敦
国立精神・神経医療研究センター行動医学研究部心身症研究室

〈メインコーディネーター〉 井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学
〈サブコーディネーター〉 西園マーハ文 明治学院大学心理学部

15:40-17:40 委員会企画シンポジウム 11 (医療倫理委員会)
医療倫理の四原則から考えるオンライン診療

司会：水野 雅文 東京都立松沢病院
相澤 明憲 特定医療法人弓削病院

CS11-1 保健医療政策の倫理の問題としてのオンライン診療

○榊原 英輔
東京大学医学部附属病院精神神経科

CS11-2 精神科における遠隔診療・AI診療の長所と短所

○新村 秀人
大正大学臨床心理学部

CS11-3 医療倫理の四原則からみた精神科におけるオンライン診療

○藤井 千代
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

CS11-4 オンライン診療非劣性試験の結果と研究参加者から寄せられた思い

○岸本 泰士郎
慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

〈メインコーディネーター〉 藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
〈サブコーディネーター〉 水野 雅文 東京都立松沢病院
相澤 明憲 特定医療法人弓削病院

6月20日(木) J会場(札幌コンベンションセンター 2F 201+202 会議室)

8:30-10:30 一般シンポジウム 6

多様性を促進する精神障害者雇用と企業支援の戦略：Individual Placement and Support における企業連携

司会：水野 雅文 東京都立松沢病院
林 輝男 社会医療法人清和会西川病院

S6-1 IPS における職場開発と企業支援

○山口 創生

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

S6-2 人生はチョコレートの箱みたいなものだ：開けるまで何が出るかわからない。

○猪田 正憲

株式会社ベルシステム 24

S6-3 IPS における企業支援の実際

○本多 俊紀

NPO 法人コミュニティ楽創

S6-4 IPS による精神科医療機関と企業の連携モデルの構築

○林 輝男

社会医療法人清和会西川病院

〔指定発言者〕

○築島 健

医療法人風のすずらん会美唄すずらんクリニック

〔指定発言者〕

○内野 敬

東邦大学医学部社会実装精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 林 輝男 社会医療法人清和会西川病院

〈サブコーディネーター〉 小山田 孝裕 特定医療法人大慈会三原病院

山口 創生 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部



10:45-12:45 **一般シンポジウム 12**

ダイバーシティ次世代へのバトン—真に役立つ精神医学のために

司会：三原 伊保子 三原デイケア+クリニックりぼん・りぼん
早苗 麻子 萌クリニック

S12-1 **男女共同参画の今までとこれから：一小児外科医の視点から**

○岩中 督
地方独立行政法人埼玉県立病院機構

S12-2 **はじめの一步 ～男女共同参画委員会の10年～**

○平山 太日子
名古屋市精神保健福祉センター

S12-3 **JSPNにおけるGender Equalityの10年を再考する：調査データが示したこと**

○安藤 久美子
聖マリアンナ医科大学

S12-4 **次世代へのバトン—残された問題**

○加茂 登志子^{1,2}
¹若松町こころとひふのクリニック、²日本PCIT研修センター、

〔指定発言者〕

○神庭 重信
社会医療法人栗山会飯田病院精神科／日本うつ病センター

〔指定発言者〕

○榎戸 芙佐子
医療法人社団和敬会谷野呉山病院

〔指定発言者〕

○安川 節子
熊本ファミリーメンタルクリニック

〈メインコーディネーター〉 三原 伊保子 三原デイケア+クリニックりぼん・りぼん

〈サブコーディネーター〉 早苗 麻子 萌クリニック

加茂 登志子 若松町こころとひふのクリニック

13:25-15:25 **委員会企画シンポジウム 9** (地域ケアにおける自立支援のあり方検討委員会)
精神科外来における「自立支援」を考える

司会：寺田 浩 あおいクリニック
 林 輝男 社会医療法人清和会西川病院

CS9-1 **共同意思決定による気分障害の外来診療**

○高江洲 義和
琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

CS9-2 **精神科外来における「自立支援」を考えるー精神科クリニックの立ち場からー**

○三木 和平
医療法人社団ラルゴ三木メンタルクリニック

CS9-3 **トラウマケアとアウトリーチの視点から考える地域ケア**

○齋藤 暢一郎^{1,2}
¹北海道教育大学、²NPO 法人メンタルコミュニケーションリサーチ

CS9-4 **精神科病院の外来における包括的な医療・支援のあり方**

○佐久間 啓
社会医療法人あさかホスピタル

CS9-5 **精神科デイケアにおける就労支援～精神科病院の立場から～**

○岩根 達郎
京都府立洛南病院

〈メインコーディネーター〉 藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
〈サブコーディネーター〉 寺田 浩 あおいクリニック

15:40-17:40 **一般シンポジウム 31**
わが国発信の自殺予防のための大規模臨床試験・ACTION-J 研究の展開と社会実装

司会：米本 直裕 順天堂大学医学部公衆衛生学

S31-1 **ACTION-J 2 次解析と自殺未遂者介入の最新のエビデンス**

○米本 直裕¹、河西 千秋²、川島 義高³
¹順天堂大学医学部公衆衛生学、²札幌医科大学医学部神経精神医学講座、
³明治大学文学部心理社会学科臨床心理学専攻

S31-2 **社会実装と実装に際して開発されたアサーティヴ・ケースマネジメント実務者養成プログラム**

○川島 義高¹、山田 光彦^{2,3}
¹明治大学文学部心理社会学科臨床心理学専攻、²東京家政学院大学人間栄養学部病態生理学、
³国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部



S31-3

ACTION-J 研究の意義：ACTION-J 研究前後で何がどう変わったのか

○河西 千秋

札幌医科大学医学部神経精神医学講座

〔指定発言者〕

○米本 直裕

順天堂大学医学部公衆衛生学

〔指定発言者〕

○河西 千秋

札幌医科大学医学部神経精神医学講座

〔指定発言者〕

○川島 義高

明治大学文学部心理社会学科臨床心理学専攻

〈メインコーディネーター〉 米本 直裕

順天堂大学医学部公衆衛生学

〈サブコーディネーター〉 河西 千秋

札幌医科大学医学部神経精神医学講座

6月20日(木) K会場(札幌コンベンションセンター 2F 206 会議室)

8:30-10:30 **委員会企画シンポジウム 4** (性別不合に関する委員会)
性別不合を持つ人々が直面する困難について

司会： 齋藤 利和 社会医療法人博友会平岸病院／札幌医科大学
宮内 和瑞子 医療法人医生会宮内クリニック

CS4-1 性別適合手術とメディカルツーリズム

○難波 祐三郎
岡山大学病院ジェンダーセンター

CS4-2 トランスジェンダーに関連する法律と医療を考える

○中塚 幹也^{1,2,3}
¹岡山大学学術研究院保健学域、²岡山大学ジェンダークリニック、
³岡山大学病院リプロダクションセンター

CS4-3 性別不合を持つ人々が直面する困難—法・制度の側面から—

○太田 順一郎
岡山市こころの健康センター

CS4-4 性別不合とうつ

○松永 千秋
ちあきクリニック

CS4-5 性別不合と依存症

○池田 官司
医療法人北仁会幹メンタルクリニック

〈メインコーディネーター〉 齋藤 利和 社会医療法人博友会平岸病院／札幌医科大学
〈サブコーディネーター〉 宮内 和瑞子 医療法人医生会宮内クリニック

10:45-12:45 **一般シンポジウム 13**
メンタルヘルス支援とダイバーシティ—LGBTQ+、留学生、在日コリアンへの支援に焦点をあてて—

司会： 徐 淑子 新潟県立看護大学

S13-1 LGBTQ+ の人々のメンタルヘルスとクリニカル・バイアス

○松高 由佳
県立広島大学

S13-2 在日コリアンのメンタルヘルスと自殺予防対策

○金 泰泳
東洋大学



S13-3 **メンタルヘルス支援における外国人留学生の文化的・社会的背景理解の重要性**

○石橋 道子

広島大学

〈メインコーディネーター〉 金 泰泳 東洋大学

〈サブコーディネーター〉 松高 由佳 県立広島大学

石橋 道子 広島大学

13:25-15:25 **一般シンポジウム 20**

性別不合 / 性別違和に対するガイドラインに準拠した診療～第5版に至る過程と今後の展望～

司会： 織田 裕行 医療法人桐葉会きじまこころクリニック
早馬 俊 医療法人南山会横浜メンタルクリニック戸塚

S20-1 **性別適合手術—保険適用への取り組みと適用後の動向—**

○難波 祐三郎

岡山大学病院ジェンダーセンター

S20-2 **性別不合へのホルモン療法の実際と今後の課題**

○中塚 幹也^{1,2,3}

¹岡山大学学術研究院保健学域、²岡山大学ジェンダークリニック、

³岡山大学病院リプロダクションセンター

S20-3 **「性別不合に関する診断と治療ガイドライン」(第5版)における小児例に対する評価と対応について**

○松本 洋輔

岡山大学病院ジェンダーセンター

〈メインコーディネーター〉 織田 裕行 医療法人桐葉会きじまこころクリニック

15:40-17:40 **一般シンポジウム 32**

うつ病日常臨床に活用したい幅広いアプローチ

司会： 小曾根 基裕 久留米大学医学部神経精神医学講座
吉村 玲児 産業医科大学医学部精神医学教室

S32-1 **うつ病の治療・予防における運動療法**

○池ノ内 篤子^{1,2}

¹産業医科大学病院認知症センター、²産業医科大学医学部精神医学教室

S32-2 **デジタル技術を用いたうつ病患者支援**

○熊崎 博一

長崎大学医学部精神神経科学教室

S32-3 福島原発災害とコロナパンデミックに学ぶうつ病対応

○前田 正治、佐藤 秀樹、竹林 唯

福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座

S32-4 うつ病に対するボルチオキセチンの実臨床における安全性、有効性に関する多施設後方視コホート研究

○中村 倫之

久留米大学医学部神経精神医学講座

S32-5 うつ病治療における外来森田療法の活用

○館野 歩

東京慈恵会医科大学精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 小曾根 基裕 久留米大学医学部神経精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 吉村 玲児 産業医科大学医学部精神医学教室



6月20日(木) L会場(札幌コンベンションセンター 2F 207 会議室)

10:00-12:40 **ワークショップ 1** (自殺予防に関する委員会)

複雑事例を通して学ぶ自殺予防のエッセンシャルズ【事前申込制】

司会：大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座
河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

- WS1 <講演者>
- | | |
|----------------------|------------------------|
| 張 賢徳 | 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 |
| 大塚 耕太郎 | 岩手医科大学医学部神経精神科学講座 |
| 太刀川 弘和 | 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学 |
| 成田 賢治 | 札幌医科大学医学部神経精神医学講座 |
| 津山 雄亮 | 札幌医科大学医学部神経精神医学講座 |
| <メインコーディネーター> 大塚 耕太郎 | 岩手医科大学医学部神経精神科学講座 |
| <サブコーディネーター> 太刀川 弘和 | 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学 |
| 成田 賢治 | 札幌医科大学医学部神経精神医学講座 |

13:25-15:25 **一般シンポジウム 21**
精神鑑定、やってみませんか？

司会：岡田 幸之 東京医科歯科大学精神科

S21-1 臨床医が鑑定人を務めるということ

○大澤 達哉
東京都立松沢病院

S21-2 やってみませんかと誘う理由の一つ～学と実践と

○茨木 丈博^{1,2}
¹ 東京工業大学保健管理センター、² 東京医科歯科大学大学院精神行動医学分野

S21-3 先生！精神鑑定について教えてください！ - 精神鑑定に関する若手精神科医へのアンケート調査報告 -

○大木 絵美梨
東京都立松沢病院

S21-4 鑑定医の裾野を広げ、質を向上させるために医療観察法指定入院医療機関である 大学病院ができること

○賀古 勇輝
北海道大学病院附属司法精神医療センター

<メインコーディネーター> 大澤 達哉 東京都立松沢病院
<サブコーディネーター> 賀古 勇輝 北海道大学病院附属司法精神医療センター

15:40-17:40 **一般シンポジウム 33**
医学教育に活かす精神病理学

司会：熊崎 努 東京農工大学保健管理センター
松本 卓也 京都大学大学院人間・環境学研究科

S33-1 **臨床研修医に伝えたい精神病理学の視点**

○玉田 有
東京医科大学八王子医療センターメンタルヘルス科

S33-2 **臨床現場における精神症候学教育**

○滝上 紘之
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S33-3 **医学教育のための純粋精神医学**

○古茶 大樹
聖マリアンナ医科大学神経精神医学教室

S33-4 **精神病理学を総合病院臨床で役立てる**

○越膳 航平
国家公務員共済組合連合会虎の門病院

〔指定発言者〕

○松本 卓也
京都大学大学院人間・環境学研究科

〈メインコーディネーター〉 熊崎 努 東京農工大学保健管理センター
〈サブコーディネーター〉 古茶 大樹 聖マリアンナ医科大学神経精神医学教室



6月20日(木) M会場(札幌市産業振興センター 産業振興棟 2F セミナールーム A)

8:30-10:30 一般シンポジウム7

ミスマッチ陰性電位の精神疾患バイオマーカー活用の現状

司会：住吉 太幹 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部／
国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部
矢部 博興 福島県立医科大学・こころと脳の医学講座

S7-1 早期サイコーススにおけるミスマッチ陰性電位のバイオマーカーとしての意義

○樋口 悠子^{1,2}、住吉 太幹^{3,4}、金子 直史^{1,2}、長澤 和也^{1,2}、赤崎 有紀子^{1,6}、高柳 陽一郎^{1,5}、
笹林 大樹^{1,2}、高橋 努^{1,2}、辻井 農亜⁶、鈴木 道雄^{1,2}

¹ 富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、² 富山大学アイドリング脳科学研究センター、

³ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部、

⁴ 国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、⁵ 四方会有沢橋病院、

⁶ 富山大学こどものこころと発達診療学講座

S7-2 注意欠如・多動症におけるミスマッチ陰性電位の臨床応用

○太田 豊作

奈良県立医科大学人間発達学

S7-3 予防精神医学および脳予測性におけるバイオマーカーとしての
ミスマッチ陰性電位

○切原 賢治^{1,2}、越山 太輔²、西村 亮一²、白井 香^{2,3}、藤岡 真生²、多田 真理子^{2,4}、
荒木 剛^{2,5}、笠井 清登²

¹ 東京大学バリアフリー支援室、² 東京大学医学部附属病院精神神経科、

³ 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、

⁴ 順天堂大学医学部精神医学講座、⁵ 帝京大学医学部附属溝口病院精神科

S7-4 ミスマッチ陰性電位と認知機能障害

○志賀 哲也^{1,2}

¹ 福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、² 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 矢部 博興

福島県立医科大学・こころと脳の医学講座

〈サブコーディネーター〉 住吉 太幹

国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所児童・予防精神医学研究部／

国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部

志賀 哲也

福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

10:45-12:45 一般シンポジウム 14

東洋と西洋の知から精神療法を深めるーあるがままとマインドフルネスの一般臨床への活用ー

司会： 館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座
 小野 和哉 聖マリアンナ医科大学神経精神医学教室

S14-1 森田療法の一般外来での活用～「あるがまま」とは～

○館野 歩
 東京慈恵会医科大学精神医学講座

S14-2 マインドフルネス心理療法の概略と展開

○藤澤 大介^{1,2}
¹慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神神経科、²国立がん研究センター

S14-3 弁証法的行動療法の一般臨床での実際

○小野 和哉
 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

S14-4 マインドフル・セルフ・コンパッションの概要と応用

○岸本 早苗
 京都大学

〈メインコーディネーター〉 館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座
 〈サブコーディネーター〉 小野 和哉 聖マリアンナ医科大学神経精神医学教室

13:25-15:25 一般シンポジウム 22

メディア×メンタルヘルス 3.0ーどう協働すべきか

司会： 太刀川 弘和 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学
 松本 俊彦 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

S22-1 メディアと自殺 - 協働の視点で

○太刀川 弘和^{1,2}
¹筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、²茨城県立こころの医療センター

S22-2 ひきこもりとメディア

○斎藤 環
 筑波大学医学医療系



S22-3

薬物問題をめぐる情報発信のあり方——専門家だからこそすべきこと

○松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

〔指定発言者〕

○岩永 直子

フリーランス

〔指定発言者〕

○渋井 哲也

フリーランス

〈メインコーディネーター〉 太刀川 弘和 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

〈サブコーディネーター〉 松本 俊彦 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所薬物依存研究部

齋藤 環 筑波大学医学医療系

15:40-17:40 一般シンポジウム 34

解離症・機能性神経症状症（転換性障害/変換症）を取り巻く最近の話題—診断から治療，心理社会的支援まで—

司会：野呂 浩史 南平岸内科クリニック精神神経科
岡野 憲一郎 本郷の森診療所／京都大学

S34-1

機能性神経症状症の概念の意義と今日的な問題

○岡野 憲一郎^{1,2}

¹本郷の森診療所、²京都大学

S34-2

解離症の治療についての近年の考え方

○野間 俊一

のまこころクリニック

S34-3

解離症・変換症患者への生活環境を踏まえた支援の実際
- 多職種連携による包括的支援の重要性 -

○荒川 和歌子¹、野呂 浩史²

¹南平岸内科クリニック臨床心理部門、²南平岸内科クリニック精神神経科

S34-4

EMDR を用いた解離症・機能性神経症状症の治療

○市井 雅哉

兵庫教育大学大学院発達心理臨床研究センタートラウマ回復支援研究分野

〈メインコーディネーター〉 野呂 浩史 南平岸内科クリニック精神神経科

〈サブコーディネーター〉 岡野 憲一郎 本郷の森診療所／京都大学
野間 俊一 のまこころクリニック

6月20日(木) N会場(札幌市産業振興センター 産業振興棟 2F セミナールーム B)

8:30-10:30 **委員会企画シンポジウム 5** (精神神経学雑誌編集委員会)
論文作成にあたってのラストオーサーの役割

司会：西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座
平井 伸英 東京医科歯科大学学生支援・保健管理機構

CS5-1 論文作成におけるラストオーサーの役割

○西村 勝治
東京女子医科大学医学部精神医学講座

CS5-2 論文作成の経験から：原著

○白倉 瞳¹、富田 博秋²
¹ 東北学院大学人間科学部心理行動科学科、² 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

CS5-3 論文作成の経験から：資料

○宇野 晃人、笠井 清登
東京大学医学部附属病院精神神経科

CS5-4 論文作成の経験から：症例報告

○長岡 大樹、笠井 清登
東京大学医学部附属病院精神神経科

〈メインコーディネーター〉 西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 細田 眞司 ころの診療所細田クリニック
中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学



10:45-12:45 **一般シンポジウム 15**
治療や支援につながりにくい人へのアウトリーチ

司会：植田 俊幸 鳥取県立厚生病院
岡崎 公彦 岡崎クリニック

S15-1 急性期型精神科病院におけるアウトリーチ支援の試みについて考える

○木崎 英介
医療法人財団厚生協会大泉病院

S15-2 精神保健福祉センターにおけるアウトリーチの経験から

○野口 正行
岡山県精神保健福祉センター

S15-3 包括型地域生活支援プログラム（ACT）においてトラウマインフォームドケアが支援継続の鍵となった一例

○藤井 和世^{1,2,3,4}、浦林 翼^{1,2,3}、伊藤 順一郎⁵、西（シラカワ）美也子⁴
¹おでかけクリニック、²任意団体いちかわみんなのほけんしつ、³合同会社ももこころ、
⁴こころとからだ・光の花クリニック、
⁵医療法人社団こころらメンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ

S15-4 精神科診療所における引きこもり事例に対する積極的な支援について考える

○浜中 利保
医療法人三家クリニック

〈メインコーディネーター〉 植田 俊幸 鳥取県立厚生病院
〈サブコーディネーター〉 岡崎 公彦 岡崎クリニック

13:25-15:25 **一般シンポジウム 23**
精神科領域における脳波活用の臨床と将来を語る

司会：池田 俊一郎 関西医科大学医学部精神神経科学教室
西田 圭一郎 大阪医科薬科大学神経精神医学教室

S23-1 神経発達症における脳波

○水井 亮¹、太田 豊作²
¹奈良県立医科大学精神医学講座、²奈良県立医科大学人間発達学

S23-2 脳波データに AI を適用した高精度な識別技術～認知症疾患とせん妄を中心に～

○畑 真弘¹、柳澤 琢史^{2,3}、池田 学¹
¹大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、²大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学、
³大阪大学高等共創研究院

S23-3 Bispectral EEG (BSEEG) を用いたせん妄患者の予後予測について

○西澤 由貴¹、金沢 徹文¹、篠崎 元²

¹大阪医科薬科大学神経精神医学講座、²スタンフォード大学医学部精神科

S23-4 うつ病と定量脳波解析

○南 翔太¹、西田 圭一郎²、加藤 正樹¹

¹関西医科大学医学部精神神経科学講座、²大阪医科薬科大学神経精神医学教室

S23-5 精神科リハビリテーションにおける脳波の活用

○吉村 匡史^{1,2}

¹関西医科大学リハビリテーション学部作業療法学科、²関西医科大学医学部精神神経科学教室

〔指定発言者〕

○石井 良平

大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科

〈メインコーディネーター〉 西田 圭一郎 大阪医科薬科大学神経精神医学教室

〈サブコーディネーター〉 石井 良平 大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科

吉村 匡史 関西医科大学リハビリテーション学部作業療法学科／

関西医科大学医学部精神神経科学教室

15:40-17:40 一般シンポジウム 35

オープンダイアログが日本の精神医療に与えるインパクト—真に役立つものとなるには—

司会： 森田 展彰 筑波大学医学医療系
斎藤 環 筑波大学医学医療系

S35-1 オープンダイアログと患者の権利擁護

○石橋 佐枝子^{1,2}

¹敦賀市立看護大学、²福井大学大学院医学系研究科

S35-2 オープンダイアログと共に生きる

○岩渕 貴子

ライクマインズ

S35-3 妻の統合失調症発症から地域での対話実践へ

○岩渕 一之

ライクマインズ

S35-4 身体に刻まれる対話——オープンダイアログトレーナー養成トレーニングの体験から

○大井 雄一^{1,2}

¹医療法人社団八月会澁谷川診療所、²筑波大学医学医療系



S35-5

研究を通じて日本にオープンダイアログを社会実装する際に必要なものとは

○大谷 保和

筑波大学医学医療系

〈メインコーディネーター〉 森田 展彰 筑波大学医学医療系

〈サブコーディネーター〉 斎藤 環 筑波大学医学医療系

笹原 信一郎 筑波大学医学医療系

6月20日(木) 0会場(札幌市産業振興センター 産業振興棟 2F セミナールームC)

8:30-9:30 一般演題(口演) 1
ECT・TMSなど(1)

司会: 嶽北 佳輝 関西医科大学医学部精神神経科学講座

1-01-1 rTMS後の再発エピソードに対し、aiTBSを実施した大うつ病性障害の一例

○林大祐¹、五十嵐俊^{1,2}、山崎龍一³、松田勇紀^{1,3,4}、垂石七星³、沖田恭治¹、野田隆政¹、鬼頭伸輔^{1,3}

¹ 国立精神・神経医療研究センター病院、² 杏林大学医学部精神神経科学教室、

³ 東京慈恵会医科大学精神医学講座、⁴ 京都大学大学院医学研究科・医学部健康増進・行動学分野

1-01-2 治療抵抗性うつ病における反復経頭蓋磁気刺激(rTMS)療法の早期反応時期と寛解との関係

○垂石七星¹、小高文聰^{1,2}、山崎龍一¹、松田勇紀^{1,2,3}、林大祐^{1,2}、五十嵐俊²、中澤亜美¹、森啓輔¹、山田洸大¹、鬼頭伸輔^{1,2}、繁田雅弘¹

¹ 東京慈恵会医科大学精神医学講座、² 国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、

³ 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康増進・行動学

1-01-3 電気けいれん療法においてパルス幅を広げることにより副反応による頭痛、嘔気や嘔吐が減じた一例

○小幡興一、松久守、清水隆明、高橋和史、南風原泰、神庭重信
社会医療法人栗山会飯田病院

1-01-4 抑うつを伴わない帯状疱疹後神経痛に対するECT無効例

○野澤唯、浅岡浩平、渡真利眞治、上野幹二、大森一郎、小坂浩隆
福井大学医学部精神医学

1-01-5 うつ病に対する電気けいれん療法後の体温上昇と早期の反応との相関についての臨床研究

○河瀬希望^{1,2}、渡辺杏里²、松岡照之^{2,3}、陳楼²、中嶋義幸²、綾仁信貴^{2,3}、成本迅²

¹ 医療法人財団北林厚生会五条山病院、² 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、

³ 独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター精神科

9:30-10:30 一般演題(口演) 3
ECT・TMSなど(2)

司会: 青木 宣篤 関西医科大学精神神経科学講座

1-03-1 m-ECTにおけるパラメータ(パルス幅、周波数、刺激電気量)調節の工夫

○西本雅彦、富山恵一郎、小坂淳、本杉太一、渡邊俊太郎、小川理世、西牧裕樹、井草理恵、黒岩隆

青木末次郎記念会相州病院



1-03-2 洞不全症候群や心室頻拍を合併した統合失調症に対して電気けいれん療法を施行した1例

○上村 永、新井 久稔、桑原 斉、松尾 幸治
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

1-03-3 非同意による電気けいれん療法の短期的・長期的有用性

○梅谷 徳彦¹、三澤 史斉¹、竹内 啓善²
¹山梨県立北病院、²慶応義塾大学医学部精神・神経科学教室

1-03-4 電気けいれん療法反応後の維持療法としてのクロザピンの有用性

○川崎 真人¹、大盛 航^{1,2}、藤田 洋輔¹、古庄 立弥¹、津久江 亮太郎¹
¹瀬野川病院精神科、²広島大学病院精神科

1-03-5 右片側超短パルス刺激への変更により電気けいれん療法によるせん妄を予防した psychiatric-onset DLB の一例

○土屋 大樹^{1,2}、松井 仁美^{1,2}、清水 真央^{1,2}、大森 祐貴¹、片岡 宗子^{1,2}、古田 光^{1,2}
¹東京都健康長寿医療センター精神科、²東京医科歯科大学精神行動医科学分野

10:45-11:45 一般演題（口演）5
依存症

司会：芦澤 健 資生会千歳病院

1-05-1 インターネットゲーム障害患者の疾患背景について —パス解析による検討—

○南 陽香、白井 寿行、宮地 真生、岡田 将平、大塚 郁夫、岡崎 賢志、谷藤 貴紀、
岩本 直子、倉永 雅子、菱本 明豊
神戸大学大学院医学研究科精神医学分野

1-05-2 依存症専門外来における自殺既遂者7例の検討

○西村 康平、板橋 登子、小林 桜児
神奈川県立精神医療センター

1-05-3 ギャンブル障害治療プログラム「未来ミーティング Voyage」の立ち上げ

○鈴木 りほ、高江 穂乃瑠、坂本 恵、瀬川 志穂子、小田島 史恵、川村 明日美、駒井 理美、
道畑 柚希、佐々木 千沙、千葉 理子、中井 徹、北川 成美、松長根 雅幸、田嶋 宣行、
智田 文徳
社会医療法人智徳会未来の風せいわ病院

1-05-4 依存症外来での初診5年後予後調査（第3報）
—アルコール関連問題をもつ患者における飲酒量の変化の軌跡—

○板橋 登子、小林 桜児、青山 久美、西村 康平
神奈川県立精神医療センター

1-05-5

わが国の精神科臨床現場における市販薬乱用者の特徴：単一製品乱用者と複数製品乱用者の比較○谷渕 由布子^{1,2}、大宮 宗一郎^{2,3}、宇佐美 貴士^{2,4}、松本 俊彦²¹ 医療法人同和会千葉病院、² 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部、³ 上越教育大学大学院学校教育研究科臨床・健康教育学系、⁴ 北九州市立精神保健福祉センター

11:45-12:45

一般演題（口演）7**COVID-19 関連**

司会：高橋 晶

筑波大学医学医療系災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター

1-07-1

COVID-19 パンデミックから考える公立精神科病院の感染対策における役割

○中村 友喜、澤井 あゆ美、水谷 亜美、吉丸 公子、芳野 浩樹、森川 将行

三重県立こころの医療センター

1-07-2

精神科単科病院の新型コロナウイルス感染症受入れ病床に入院した患者の入院期間延長要因の検討

○水谷 亜美、中村 友喜、澤井 あゆ美、吉丸 公子、芳野 浩樹、森川 将行

三重県立こころの医療センター

1-07-3

**COVID-19 感染後のメンタルヘルス：
固定効果モデルによる希死念慮の経時的変遷**

○高松 直岐、千葉 裕之、梅本 育恵、野網 恵、近藤 真前、鬼頭 伸輔、久我 弘典

国立精神・神経医療研究センター

1-07-4

COVID-19 感染による軽症肺炎後の 30 代喫煙男性自殺企図者の頭部 MRI T2 強調画像でみられた粒子状高信号所見

○池本 桂子

東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻精神医学分野

1-07-5

COVID-19 のパンデミック下の医療従事者における抑うつ症状の増加に関連する生活習慣○高橋 啓太郎¹、勝田 成昌^{1,2}、福田 洋^{2,3}、齋田 瑞恵^{2,3}、長岡 鉄太郎²、浦崎 航⁴、野尻 宗子⁴、堀 賢²、内藤 俊夫^{2,3}、加藤 忠史¹¹ 順天堂大学医学部精神医学講座、² 順天堂大学健康安全推進センター、³ 順天堂大学医学部総合診療科、⁴ 順天堂大学臨床研究・治験センター



13:25-15:25 **一般シンポジウム 24**
非定型精神病とカタトニアを見つめ直す

司会：高木 学 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学
金沢 徹文 大阪医科薬科大学

S24-1 **自己免疫学的観点から見つめる非定型精神病・カタトニア**

○酒本 真次
岡山大学病院精神科神経科

S24-2 **カタトニア概念の変遷と今日のカタトニア**

○諏訪 太郎
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学)

S24-3 **神経科学から非定型精神病的病態生理について考える**

○朴 秀賢
熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

S24-4 **非定型精神病が真に役立つ精神科診断となるために**

○金沢 徹文
大阪医科薬科大学精神神経科

〈メインコーディネーター〉 金沢 徹文 大阪医科薬科大学
〈サブコーディネーター〉 高木 学 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学

15:40-17:40 **一般シンポジウム 36**
子供の司法精神医学 (2) —触法行為を働いた少年と児童精神医学—

司会：吉岡 眞吾 愛知県精神医療センター
太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

S36-1 **少年矯正から見た精神司法について**

○小國 万里子¹、吉岡 眞吾²
¹法務省高松矯正管区、²愛知県精神医療センター

S36-2 **触法少年の治療から考える精神病理 —若年パーティ症候群 (仮称) について—**

○吉岡 眞吾
愛知県精神医療センター

S36-3 **少年が精神疾患を有する場合の付添人活動—成人との比較を通じた事例報告—**

○井口 光奈
弁護士法人名城法律事務所

S36-4

少年の精神鑑定：特定少年に焦点をあてて

○安藤 久美子

聖マリアンナ医科大学

〔指定発言者〕

○橋本 佳子

名古屋市中央児童相談所

〈メインコーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

〈サブコーディネーター〉 吉岡 眞吾 愛知県精神医療センター



6月20日(木) P会場(札幌市産業振興センター 技能訓練棟 3F セミナールーム1)

8:30-10:30 **一般シンポジウム 8**

うつ病シンギュラリティーガイドラインだけでは立ち向かえない臨床のために—

司会：小林 聡幸 自治医科大学精神医学講座
田中 伸一郎 東京藝術大学

S8-1 中井久夫のうつ病論 —「意地」そして「かぶとを脱ぐこと」

○杉林 稔
社会医療法人愛仁会高槻病院

S8-2 パートナーシップのサルトグラフィ—

○斎藤 環
筑波大学医学医療系

S8-3 『メランコリー』(テレンバッハ)を読む

○西依 康
自治医科大学精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 小林 聡幸 自治医科大学精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 西依 康 自治医科大学精神医学講座

10:45-12:45 **一般シンポジウム 16**

向精神薬と自動車運転 —エビデンスの実装と添付文書での適切な注意喚起—

司会：松尾 幸治 埼玉医科大学医学部精神医学／埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
中林 哲夫 独立行政法人医薬品医療機器総合機構健康被害救済部

S16-1 自動車運転試験ガイドラインと新規運転評価系の開発

○岩本 邦弘
名古屋大学大学院医学系研究科発達老年精神医学分野

S16-2 統合失調症患者の認知機能と運転技能

○小西 勇輝
産業医科大学医学部医学科精神医学

S16-3 向精神薬が自動車の運転技能に及ぼす影響の判定基準の開発

○中林 哲夫
独立行政法人医薬品医療機器総合機構健康被害救済部

S16-4 産業精神医学と自動車運転

○吉村 玲児
産業医科大学医学部精神医学教室

〔指定発言者〕

○渡邊 さつき
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

〔指定発言者〕

○中田 克彦

〈メインコーディネーター〉 松尾 幸治 埼玉医科大学医学部精神医学／
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
〈サブコーディネーター〉 中林 哲夫 独立行政法人医薬品医療機器総合機構
健康被害救済部
岩本 邦弘 名古屋大学大学院医学系研究科
発達老年精神医学分野

13:25-15:25 一般シンポジウム 25

アルコール・薬物使用で問題のある人たちを診るためには—ハームリダクションの理念を取り入れた対応—

司会：宮田 久嗣 医療法人社団光生会平川病院／東京慈恵会医科大学精神医学講座
齋藤 利和 社会医療法人博友会平岸病院／札幌医科大学

S25-1 ハームリダクションをアルコール使用障害の臨床場面でどう活用するか

○湯本 洋介
久里浜医療センター

S25-2 ハームリダクションを、具体的に、どこで、どのように薬物使用障害の診療に活かすのか

○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

S25-3 ハームリダクションから診療に取り入れるべきものは何か

○白坂 知彦
手稲溪仁会病院精神保健科



S25-4

ハームリダクションとはどのようなものか：ハームリダクションの理念と実践

○宮田 久嗣^{1,2}、高野 歩³

¹ 医療法人社団光生会平川病院、² 東京慈恵会医科大学精神医学講座

³ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

〔指定発言者〕

○太田 順一郎

岡山市こころの健康センター

〈メインコーディネーター〉 宮田 久嗣

医療法人社団光生会平川病院／

東京慈恵会医科大学精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 齋藤 利和

社会医療法人博友会平岸病院／札幌医科大学

15:40-17:40

一般シンポジウム 37

役に立つポジティブ精神医学の現在の活用性と今後の発展性

司会：徳永 雄一郎 不知火病院

高橋 英彦

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

S37-1

大学教育におけるポジティブ精神医学の活用

○須賀 英道

龍谷大学

S37-2

ポジティブサイコロジーを活かした健康経営

○海原 純子

昭和女子大学

S37-3

外来臨床におけるポジティブ精神医学活用

○片山 奈理子

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S37-4

地域活性化におけるポジティブ精神医学の活用

○佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル

〔指定発言者〕

○大野 裕

一般社団法人認知行動療法研修開発センター

〈メインコーディネーター〉 須賀 英道

龍谷大学

〈サブコーディネーター〉 佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル

6月20日(木) Q会場(札幌市産業振興センター 技能訓練棟 3F セミナールーム 2)

8:30-9:30 一般演題(口演) 2
コンサル・リエゾン

司会：福本 健太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

1-02-1 デュアルオレキシン受容体拮抗薬を使用した身体疾患患者におけるせん妄発生因子の後方視研究

○逸見 竜次、中村 倫之、小曾根 基裕
久留米大学神経精神医学講座

1-02-2 慢性痛患者に対するマインドフルネス認知療法による気分状態への影響

○田中 智里^{1,2}、若泉 謙太^{1,2}、篠原 佑太²、小杉 志都子^{1,2}、藤澤 大介^{3,4}
¹慶應義塾大学医学部麻酔学教室、²慶應義塾大学病院痛み診療センター、
³慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、⁴慶應義塾大学病院医療安全管理部

1-02-3 当院における精神疾患合併妊婦の向精神薬の内服状況と出生児への影響

○八木 徹¹、吉野 祐太¹、坪内 浩一¹、伊賀 淳一¹、杉山 隆²、上野 修一¹
¹愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、²愛媛大学大学院医学系研究科産婦人科学講座

1-02-4 胃癌術後にうつ病との鑑別に苦慮した低活動型せん妄の1例

○大屋 久晴、渡邊 孝文、明智 龍男
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

1-02-5 統合失調症患者と妊娠合併の統合失調症患者での抗精神病薬の投与量の比較

○高橋 有樹、岩田 健、小黒 早紀
東京都立多摩総合医療センター

9:30-10:30 一般演題(口演) 4
精神医学アラカルト

司会：橋本 直樹 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

1-04-1 爪をむしりたがる子、爪を切りたがらない人～ネイリストの技術～

○和田 康夫¹、鯨岡 百合香²
¹赤穂市民病院、²(株)cranberry nail

1-04-2 精神医療における倫理規範の統合：徳倫理の再興に向けて

○齊尾 武郎
SMBC 日興証券ウエルネス推進室



1-04-3 当院の治験同意取得数から見た ClinicalResearchCoordinator 活用の展望

○坪井 宗二、藤田 潔
桶狭間病院藤田こころケアセンター

1-04-4 てんかん診療における精神症状への Measurement-Based Care の実践報告

○横山 尚人¹、倉持 泉¹、大賀 公子²、岩山 孝幸³、中島 崇博¹、水野 公仁¹、
梅村 智樹¹、志賀浪 貴文¹、小林 清香²、安田 貴昭¹、吉益 晴夫¹
¹ 埼玉医科大学総合医療センター神経精神科、² 埼玉医科大学総合医療センター看護部、
³ 昭和女子大学人間社会学部心理学科

1-04-5 オンライン精神療法において患者が好印象を抱く医療者の表情および声の解析：
機械学習モデルの活用可能性

○市倉 加奈子^{1,2}、横山 仁史³、鹿野 あすな⁴、富澤 政也¹、伊藤 大輔⁵、村山 孝之⁶、
千葉 宏毅⁷、村上 健^{1,2}、川守田 拓志^{1,2}、深瀬 裕子^{1,2}、田ヶ谷 浩邦^{1,2}
¹ 北里大学医療衛生学部、² 北里大学大学院医療系研究科、³ 新潟大学人文学部、
⁴ NPO 法人 DK・できることおおきなかぶ、⁵ 兵庫教育大学大学院学校教育研究科、
⁶ 金沢大学大学院人間社会環境研究科、⁷ 北里大学医学部

10:45-11:45 一般演題（口演）6
気分障害（1）

司会： 鬼頭 伸輔 東京慈恵会医科大学精神医学講座

1-06-1 修正型電気けいれん療法（mECT）由来のタコツボ型心筋症を発症し2週間後に
mECT を再開したうつ病男性患者

○毛塚 大^{1,2}、春山 亜希子³、鈴木 映二⁴、佐久間 啓¹
¹ 社会医療法人あさかホスピタル総合心療科、² 東北医科薬科大学病院精神科、
³ 社会医療法人あさかホスピタル内科、⁴ 東北医科薬科大学医学部精神科学

1-06-2 うつ病での睡眠薬としてのベンゾジアゼピン受容体作動薬の長期使用と
関連する要因

○土生川 光成^{1,2}、小城 公宏³、植田 健嗣³、小浦 冬馬²、藤井 優樹²、横山 遼²、
水木 慧²、瀧井 稔²、兵頭 佑規²、加藤 隆郎²、和佐野 研二郎²、森 裕之²、
比江嶋 啓至²、小曾根 基裕²、内村 直尚²
¹ 久留米大学医療センター精神科、² 久留米大学医学部神経精神医学講座、
³ 医療法人清友会植田病院

1-06-3 希死念慮の確認を再考する

○徳永 雄一郎¹、松下 満彦¹、松原 六郎²、黒田 健治³、信田 広晶⁴、佐久間 啓⁵、
中島 公博⁶
¹ 不知火病院、² 松原病院、³ 阪南病院、⁴ しのだの森ホスピタル、⁵ あさかホスピタル、
⁶ 五稜会病院

1-06-4 双極性障害における ADHD 特性と認知機能の直接的または抑うつ症状とレジリエンス経路での社会機能への影響

○小野口 豪¹、小松 浩²、割田 紀子²、小野 千晶²、堀越 翔^{1,3}、富田 博秋^{1,2}

¹ 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、² 東北大学病院精神科、³ ほりこし心身クリニック

1-06-5 携帯型脳波計を用いたうつ病睡眠脳波指標の診断有用性に関する予備的調査

○河村 葵^{1,2}、角谷 寛^{1,2}、鈴木 正泰^{2,3}、栗山 健一^{1,2}、内山 真³、山田 尚登¹

¹ 滋賀医科大学精神医学講座、

² 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部、

³ 日本大学医学部精神医学系精神医学分野

11:45-12:45 一般演題（口演）8
気分障害（2）

司会：馬場 元 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック

1-08-1 睡眠障害に関連したうつ病の新規診断支援システムの開発

○内海 智博¹、松井 健太郎¹、吉池 卓也¹、河村 葵¹、長尾 賢太郎¹、押淵 英弘²、金子 宜之³、横瀬 宏美³、鈴木 貴浩³、金森 正³、早乙女 優太³、永井 康³、齋藤 かおり³、大槻 怜³、柏木 香保里⁴、山本 慎太郎⁴、吉田 政樹⁴、神坂 遼⁵、大庭 真梨⁵、浅野 敦子⁵、津野 良子⁵、波多野 賢二⁵、小居 秀紀⁵、鈴木 正泰³、西村 勝治²、栗山 健一¹

¹ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部、

² 東京女子医科大学医学部精神医学講座、³ 日本大学医学部精神医学系精神医学分野、

⁴ スリープウェル株式会社、

⁵ 国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門情報管理・解析部

1-08-2 神経発達症特性を有する患者に併存したうつ病は双極スペクトラム障害か？
— NIRS および MRI を用いた検討 —

○下田 健吾^{1,2}、土居 照代¹、木村 真人³、朴 惠榮⁴、舘野 周²

¹ 日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科、² 日本医科大学精神医学教室、

³ 北総メンタルクリニック、⁴ めぐみこころのクリニック

1-08-3 月経前不快気分障害の機能的結果に対する小児期虐待、神経症傾向の影響

○森下 千尋¹、小野 美樹¹、榎屋 二郎¹、田辺 肇²、井上 猛¹

¹ 東京医科大学精神医学分野、² 静岡大学人文社会科学部

1-08-4 治療抵抗性うつ病患者における SITH-1 抗体価と脳体積の関連に関する予備的研究

○森 啓輔¹、小高 文聰¹、松澤 友斗¹、岡 直美²、石井 梓²、石井 洵平¹、近藤 一博²、繁田 雅弘¹

¹ 東京慈恵会医科大学精神医学講座、² 東京慈恵会医科大学ウイルス学講座



1-08-5 外来双極II型障害患者に対する集団心理教育の有用性と主観的認知機能との関連について

○岡崎 智行、浅岡 聡、中津 啓吾
医療法人社団更生会草津病院

13:25-14:25 一般演題（口演）9
児童・思春期（1）

司会：館農 勝 ときわ病院

1-09-1 年齢別にみた神経発達症児への運動介入による効果

○棟近 孝之¹、村上 友香理²、黒瀬 聖司³
¹医療法人和合会和合病院、²AKIDS ラボ、³関西医科大学健康科学センター

1-09-2 児童精神科患者の入院治療に関わる病棟スタッフへのペアレンティング・プログラムの導入について

○柳下 杏子^{1,2}、松原 三郎¹
¹社会医療法人財団松原愛育会松原病院、²社会福祉法人松原愛育会石川療育センター

1-09-3 早産・極低体重で出生した乳幼児の生活特性と精神発達

○太田 英伸^{1,2}、COI stream group^{1,3,4,5,6,7,8,9,10}
¹秋田大学大学院医学系研究科作業療法学講座、²静和会浅井病院研究所、³北海道大学、
⁴市立札幌病院、⁵秋田赤十字病院、⁶金沢大学、⁷聖路加国際大学、⁸東邦大学、
⁹日本赤十字社医療センター、¹⁰三重大学

1-09-4 回避・制限性食物摂取障害（ARFID）を呈した小児期の4症例における薬物療法と行動療法

○塩津 大地、近藤 哲也、有村 尚也、瀬戸下 玄郎、新井 薫、崎元 仁志、佐々木 なつき、
福原 竜治、中村 雅之
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

1-09-5 精神・行動の発達病理の深層クラスタリング
—思春期コホートの本人と養育者による評価とその乖離—

○長岡 大樹¹、宇野 晃人¹、宇佐美 慧²、田中 李樹¹、南 倫¹、澤井 大和¹、
大熊 彩子¹、山崎 修道³、宮下 光弘³、西田 淳志³、笠井 清登¹、安藤 俊太郎^{1,3}
¹東京大学医学部附属病院精神神経科、²東京大学大学院教育学研究科教育心理学講座、
³東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター

14:25-15:25 **一般演題（口演） 10**
児童・思春期（2）

司会：辻井 農亜 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

1-010-1 **神経発達症に対する医療・学校連携の成果と小中学校教員のストレス**

○河邊 憲太郎¹、井上 彩織²、森本 佳奈³、岡澤 麻耶²、曾我 純也²、松本 優²、
山田 晶子³、砂田 桃³、上月 遥³、磯部 昌憲³、上床 輝久³、村井 俊哉³、
堀内 史枝¹、上野 修一²

¹愛媛大学大学院医学系研究科児童精神医学講座、²愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、
³京都大学医学部附属病院精神科神経科

1-010-2 **神経発達症児を巡る医療学校連携と教員の支援感情の検討**

○上月 遥¹、河邊 憲太郎²、堀内 史枝²、山田 晶子¹、砂田 桃¹、森本 佳奈¹、
上床 輝久¹、義村 さや香³、井上 彩織⁴、岡澤 麻耶⁴、松本 優⁴、曾我 純也⁴、
磯部 昌憲¹、上野 修一⁴、村井 俊哉¹

¹京都大学医学部附属病院精神科神経科、²愛媛大学大学院医学系研究科児童精神医学講座、
³京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端作業療法学講座、
⁴愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

1-010-3 **多様な子ども期逆境体験（Adverse Childhood Experiences: ACEs）が
成人期のメンタルヘルスに与える影響**

○佐々木 那津¹、渡辺 和広²、金森 由晃³、田淵 貴大⁴、藤原 武男⁵、西 大輔¹

¹東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野、²北里大学医学部公衆衛生学、
³東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野、⁴大阪国際がんセンター、
⁵東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野

1-010-4 **日本における注意欠如・多動症（ADHD）の精神科併存症：
医科レセプトデータベースを用いた検討**

○岡田 俊^{1,2}、外立 拓真³、小笠原 真理³、西垣 信裕³

¹奈良県立医科大学精神医学講座、
²国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部、
³武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス

1-010-5 **成人期 ADHD におけるマインドワンダリング**

○石原 里彩、幾瀬 大介、林 若穂、鈴木 洋久、中村 暖、真田 建史、岩波 明
昭和大学医学部精神医学講座



15:40-16:40 **一般演題（口演） 11**
児童・思春期（3）

司会：三上 克央 東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学

1-011-1 **自閉スペクトラム症児の感覚特性と睡眠に関する全国調査
～感覚特性に基づく介入の重要性～**

○清水 日智¹、川原 紘子¹、大橋 愛子¹、寺田 和憲²、岩永 竜一郎³、熊崎 博一¹
¹長崎大学病院精神科神経科、²岐阜大学工学部、³長崎大学医学部保健学科

1-011-2 **成人の ADHD で観察されたヘテロクロニー**

○丹治 和世
小石川東京病院

1-011-3 **日本における成人期注意欠如・多動症（ADHD）による社会経済学的負担の推計**

○辻井 農亜¹、西垣 信裕²、川北 泰司²、太田 美穂子²、五十嵐 中³
¹富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座、
²武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス、³横浜市立大学医学群健康社会医学ユニット

1-011-4 **複合的遺伝子解析アプローチによるメラトニン分泌と注意欠如多動症の関連**

○高橋 長秀^{1,2,3}、西村 倫子^{2,3}、奥村 明美^{2,3}、原田 妙子^{2,3}、岩淵 俊樹^{2,3}、
ラーマン シャフル^{2,3}、土屋 賢治^{2,3}
¹名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科、
²浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、³大阪大学大学院連合小児発達学研究科

1-011-5 **入院中の強度行動障害者への支援・介入の専門プログラム整備と地域移行につい
ての多施設共同研究**

○會田 千重¹、市川 宏伸²、井上 雅彦³、日詰 正文⁴、成田 秀幸⁴、根本 昌彦⁴、
高橋 和俊⁵、山下 健⁶、吉川 徹⁷、児玉 匡史⁸、田中 恭子⁹
¹国立病院機構肥前精神医療センター、²日本発達障害ネットワーク、
³鳥取大学医学部医学系研究科、⁴国立重度知的障害者総合施設のぞみの園、
⁵ゆうあい会石川診療所、⁶国立病院機構さいがた医療センター、
⁷愛知県医療療育総合センター中央病院、⁸岡山県精神科医療センター、⁹国立病院機構菊池病院

16:40-17:40 **一般演題（口演） 12**
自殺対策

司会：成田 賢治 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

1-012-1 **入院患者の外出・外泊中の自殺企図の特徴：医療事故情報収集等事業における医
療事故情報データの分析**

○井上 佳祐^{1,2}、河西 千秋³、張 賢徳⁴、大塚 耕太郎⁵
¹医療法人正心会岡本病院、²横浜市立大学精神医学教室、
³札幌医科大学医学部神経精神医学講座、
⁴国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、⁵岩手医科大学神経精神科学講座

1-012-2 警察機関と監察医が取り扱う情報を活用した自殺既遂者の精神科受診歴と自殺手段の関連性の検討

○村上 龍^{1,3}、上久保 敦^{1,2}、守岡 大吾¹、黒木 尚長^{2,3}

¹ 明治国際医療大学保健医療学部救急救命学ユニット、² 大阪府監察医事務所、

³ 千葉科学大学大学院危機管理学研究科

1-012-3 高自殺率地域において自殺念慮を有する住民の心理社会的特徴

○小熊 貴之^{1,2}、津山 雄亮²、米本 直裕³、河西 千秋²

¹ 江別市立病院精神科、² 札幌医科大学神経精神医学講座、³ 順天堂大学大学院公衆衛生学講座

1-012-4 適応障害と診断された自殺企図患者の心理社会的特徴

○佐野 智章^{1,2}、石橋 竜太郎²、柏木 智則²、河西 千秋²

¹ 帯広厚生病院精神科、² 札幌医科大学神経精神医学講座

1-012-5 自殺対策の地域力に関する調査

○竹島 正^{1,2}、河野 稔明¹、辻本 哲士¹、籠本 孝雄²、阿部 俊幸²、宇佐美 寿江²、
喜多村 祐里²、島田 達洋²、楯林 英晴²、中川 浩二²、西畑 陽介²、田中 治³

¹ 川崎市総合リハビリテーション推進センター、

² 全国精神保健福祉センター長会データ分析・地域分析検討委員会、

³ 全国精神保健福祉センター長会自殺対策委員会



6月20日(木) ポスター会場(札幌市産業振興センター 技能訓練棟 2F 体育実習室)

13:25-14:25 一般演題(ポスター) 1
COVID-19 関連

司会: 船山 道隆 足利赤十字病院神経精神科

1-P1-1 肥前精神医療センター COVID-19 受け入れ病棟における活動実績の報告

○石津 良子¹、遠藤 光一¹、大坪 建¹、岡田 裕美子¹、川合 優子¹、西村 泰亮¹、
福石 和久²、藤瀬 陽子²、富田 泉³、橋口 美樹³、松永 薫³、諸岡 知美¹、村川 亮¹
¹ 肥前精神医療センター医局、² 肥前精神医療センター薬剤部、³ 肥前精神医療センター看護部

1-P1-2 日本における COVID-19 感染症の精神的影響調査

○飯塚 真理^{1,2}、黒川 駿哉^{1,2}、古川 渉太^{1,2,3}、岸本 泰士郎^{1,2}、Solmi Marco⁴、
Thompson Trevor⁵、Correll Christoph⁶
¹ 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、
² 慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座、
³ つつじメンタルホスピタル精神科、⁴ オタワ大学精神科、⁵ グリニッジ大学、
⁶ ドナルド・バーバラザッカー医科大学

1-P1-3 精神科病院の病棟機能別にみた新型コロナウイルス感染症の感染対策の違い

○澤井 あゆ美、中村 友喜、水谷 亜美、吉丸 公子、芳野 浩樹、森川 将行
三重県立こころの医療センター

1-P1-4 精神科病院におけるコロナ禍での歯科介入状況についての検討

○倉増 亜紀^{1,4}、飯野 美紀子²、治田 彩香^{1,4}、吉村 清太^{1,4}、加藤 和男^{1,4}、野崎 正太郎³、
船橋 英樹⁴、平野 羊嗣⁴、石田 康⁴
¹ 一般財団法人弘潤会野崎病院精神科、² 一般財団法人弘潤会野崎病院歯科、
³ 一般財団法人弘潤会野崎病院リハビリテーション科、
⁴ 宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野

1-P1-5 認知症病棟での COVID-19 クラスターに従事した医療従事者のストレスとメンタルケア

○粟森 佳世子^{1,2}、新谷 紀子²、橋本 靖也^{2,3}、神川 繁利²、北村 真希²、栃本 真一^{2,4}、
北村 立²
¹ 金沢大学附属病院神経科精神科、² 石川県立こころの病院、
³ 金沢市民生協会ときわ病院、⁴ 公立能登総合病院精神センター

1-P1-6 コレスポンデンス分析を用いた日本赤十字社「COVID-19 対応者のためのストレスチェックリスト」の構造解析

○山田 泰史、久保 泰隆、野田 武史、永峯 大、中島 政美、原 秀之、関口 秀文
赤城病院

13:25-14:25 **一般演題（ポスター） 2**
コンサル・リエゾン（1）

司会：古瀬 研吾 JA 北海道厚生連帯広厚生病院

1-P2-1 **経ストーマ投与されたジアゼパム坐剤が自然排出されていたために、離脱症状を生じた1例**

○山田 裕士¹、藤原 雅樹¹、鳥越 美沙子²、高木 学³

¹岡山大学病院精神科神経科、²特定医療法人万成病院、

³岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学

1-P2-2 **オレキシン受容体拮抗薬がせん妄持続期間に及ぼす影響の検証**

○松岡 綾華¹、祖川 倫太郎²、村川 徹³、溝口 義人³、門司 彰^{3,4}、島ノ江 千里²、品田 公太¹、山田 春奈⁵、小網 博之¹、阪本 雄一郎¹

¹佐賀大学医学部救急医学講座、²佐賀大学病院薬剤部、³佐賀大学医学部精神医学講座、

⁴慈光会若久病院、⁵佐賀大学医学部看護学科

1-P2-3 **外傷患者の入院中の総医療費にせん妄が与える影響**

○品田 公太¹、松岡 綾華¹、祖川 倫太郎²、村川 徹³、溝口 義人³、門司 晃⁴、島ノ江 千里²、山田 春奈⁵、小網 博之¹、阪本 雄一郎¹

¹佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター、²佐賀大学医学部附属病院薬剤部、

³佐賀大学医学部精神医学講座、⁴慈光会若久病院、⁵佐賀大学医学部看護学科

1-P2-4 **不眠時指示薬限定による転倒転落およびチューブ類自己抜去への影響**

○和田 健、大賀 健市、皆尾 望、栗山 裕、杉田 隆裕、由田 実沙

広島市立病院機構広島市立広島市民病院精神科

1-P2-5 **関西医科大学総合医療センターにおける急性胆嚢炎術後患者のせん妄発症に関する因子の後方視的検討**

○船楓 紀也¹、中竹 利知²、越川 陽介¹、嶽北 佳輝¹、北出 浩章²、木下 利彦¹、加藤 正樹¹

¹関西医科大学精神神経科学講座、²関西医科大学外科学講座

1-P2-6 **精神科リエゾン専門医のニーズを考える：
日本総合病院精神医学会アンケート調査より**

○大矢 希^{1,7}、和田 健²、和田 佐保^{3,7}、治徳 大介^{4,7}、岩田 正明^{5,7}、西村 勝治^{6,7}

¹京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、²広島市立広島市民病院精神科、

³国立がん研究センターがん対策研究所がん医療支援部 / 中央病院精神腫瘍科、

⁴東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学分科、

⁵鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分科、⁶東京女子医科大学医学部精神医学講座、

⁷日本総合病院精神医学会専門医制度委員会



13:25-14:25 一般演題（ポスター）3

児童・思春期（1）

司会：齊藤 卓弥 北海道大学病院子どものこころと発達センター

1-P3-1 自閉スペクトラム症児の親に対するスマートフォン行動活性化、アサーション訓練、問題解決療法の有効性

○山田 敦朗¹、中西 大介²、野木村 茜³、Yan Luo⁴、香月 富士日⁵、伊藤 嘉規⁶、今井 文信⁷、渡辺 範雄⁸、明智 龍男⁹、堀越 勝¹⁰、古川 壽亮⁴

¹名古屋市立大学大学院医学系研究科こころの発達医学寄附講座、

²三重県立子ども心身発達医療センター、³生会松蔭病院、

⁴京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野、⁵名古屋市立大学大学院看護学研究科・看護学部、

⁶名古屋市立大学病院臨床心理室、⁷豊田こころの診療所、⁸蘇生会総合病院精神科、

⁹名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野、

¹⁰国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター

1-P3-2 子どもの心理社会的発達に母親の強迫症症状、特に巻き込み行為が及ぼす影響に関する多角的検討

○荻野 俊、向井 馨一郎、櫻井 正彦、細井 幸彦、松永 寿人

兵庫医科大学精神科神経科学講座

1-P3-3 Child Psychosis-risk Screening System（CPSS）による予後予測

○濱崎 由紀子^{1,2}、阪上 由子³、松尾 雅博⁴、中山 貴夫¹、道越 秀吾⁵、上羽 智子⁶、疋田 貴俊⁷

¹京都女子大学現代社会学部、²医療法人藤樹会滋賀里病院、³滋賀医科大学医学部小児科学講座、

⁴滋賀医科大学医学部精神医学講座、⁵京都女子大学データサイエンス学部、

⁶済生会守山市民病院小児科、⁷大阪大学蛋白質研究所高次脳機能学研究室

1-P3-4 東日本大震災後に出産した母親の抑うつとその子どもの情緒や行動の問題に関する縦断研究結果

○福地 成^{1,2}、千葉 柊作^{3,4}、東海林 涉⁵、白倉 瞳⁵、内田 知宏⁶、吉岡 靖史^{4,7}、八木 淳子^{4,7}、榎屋 二郎^{8,9}、鈴木 映二¹、松浦 直己¹⁰

¹東北医科薬科大学医学部精神科学教室、

²公益社団法人宮城県精神保健福祉協会みやぎ心のケアセンター、³東北大学大学院教育学研究科、

⁴岩手医科大学付属病院児童精神科、⁵東北学院大学人間科学部心理行動科学科、

⁶尚絅学院大学大学院総合人間科学研究科、⁷岩手医科大学医学部神経精神科学講座、

⁸東京医科大学精神医学分野、⁹ふくしま子どもの心のケアセンター、

¹⁰三重大学教育学部特別支援教育講座

1-P3-5 児童相談所において取り扱う事例の精神医学的評価方法

○中山 浩

川崎市こども家庭センター

1-P3-6 自閉スペクトラム症のカタトニアにアリピプラゾール、メマンチン、ロラゼパムが再発予防に有効だった1例

○飯沢 美文¹、清水 隆明²、窪田 真明³、篠山 大明¹、鷺塚 伸介¹

¹信州大学医学部精神医学教室、²飯田病院精神科、³北信総合病院精神科

14:25-15:25 一般演題（ポスター）4
コンサル・リエゾン（2）

司会：岸 泰宏 日本医科大学武蔵小杉病院精神科

1-P4-1 リエゾナーズ導入による院内紹介の変化について

○植田 祐子、石王 寛
松江赤十字病院

1-P4-2 COVID-19 による精神科リエゾン医療への影響の調査

○堀内 健太郎^{1,2}、富岡 大^{1,3}、幾瀬 大介^{1,3}、沖野 和磨^{1,3}、工藤 智博^{1,3}、葛井 真守^{1,3}、
熊崎 栞^{1,3}、石原 里彩^{1,3}、平田 貴之^{1,3}、堀口 爽^{1,3}、笠井 隆央^{1,3}、佐々木 俊平^{1,3}、
下野 純^{1,3}、石井 宏明^{1,3}、常岡 俊昭^{1,4}、山田 浩樹^{1,3}、岩波 明^{1,4}、稲本 淳子^{1,3}
¹ 昭和大学医学部精神医学講座、² 昭和大学藤が丘病院精神神経科、
³ 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター、⁴ 昭和大学附属烏山病院精神科

1-P4-3 大動脈弁置換術後にせん妄を呈した小児患者に対し Risperidone 及び心理介入が有効であった一例

○佐藤 英明^{1,2}、阿部 恭久²、林 勇佑³、八浪 浩一³
¹ 熊本市市民病院精神科、² 八代更生病院、³ 熊本市市民病院小児循環器内科

1-P4-4 ベンゾジアゼピン系薬の使用下における併用薬剤のせん妄発症シグナルへの影響

○祖川 倫太郎¹、西村 文¹、宮本 由貴¹、松岡 綾華²、山田 春奈³、村川 徹⁴、
溝口 義人⁴、門司 晃⁵、島ノ江 千里¹
¹ 佐賀大学医学部附属病院薬剤部、² 佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター、
³ 佐賀大学医学部看護学科、⁴ 佐賀大学医学部精神医学講座、⁵ 若久病院

1-P4-5 東海大学医学部附属病院緩和ケアチームによる子どものグリーンケアについて

○高橋 有記¹、鈴木 遙子¹、西原 翼¹、鍛冶 小百合¹、鈴木 翔子¹、伊藤 美保²、
友松 裕美²、木本 啓太郎¹、大西 雄一¹、津田 万里²、徳原 真²、三上 克央¹、
山本 賢司¹
¹ 東海大学医学部附属病院総合診療学系精神科学、
² 東海大学医学部附属病院専門診療学系緩和医療学

1-P4-6 高度肥満症患者に対するケースフォーミュレーションの実践例

○山梨 豪彦¹、古瀬 弘訓²、生田 詩織²、三浦 明彦¹、岩田 正明³
¹ 鳥取大学医学部附属病院精神科、² 鳥取大学医学部附属病院脳とこころの医療センター、
³ 鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野



14:25-15:25 **一般演題（ポスター）5**
器質・症状性精神障害（1）

司会： 埴原 秋児 長野県立こころの医療センター駒ヶ根

1-P5-1 **多発性硬化症におけるコタール症候群の1例報告**

○秋山 麻耶、小西 勇輝、渡辺 千妃呂、中根 真吾、池ノ内 篤子、吉村 玲児
産業医科大学精神医学

1-P5-2 **無床精神科における成人発症Ⅱ型シトルリン血症の実態調査研究（一次調査報告）**

○許 全利、嶽北 佳輝、加藤 正樹、木下 利彦
関西医科大学医学部精神神経科学講座

1-P5-3 **身体症状が乏しく、診断に苦慮した抗 NMDA 受容体脳炎の一例**

○前川 雪菜^{1,2}、末木 亮嗣¹、星野 恵則¹、押淵 英弘²、西村 勝治²
¹みやざきホスピタル、²東京女子医科大学病院

1-P5-4 **幻覚妄想が出現した抗 GAD 抗体関連脳炎の1例**

○小宮 志の、大槻 怜、下山田 竜一郎、佐藤 洋一、奥山 早希、柿本 建治郎、藤井 伸邦、
金森 正、金子 宜之、鈴木 正泰
日本大学医学部精神医学系精神医学分野

1-P5-5 **特徴的な奇異行動と精神病症状を呈した前頭葉機能低下を伴うベッカー型筋ジストロフィーの一例**

○南學 正仁¹、長尾 賢太郎¹、加藤 愛理²、森 まどか³、久保田 智香¹、鬼頭 伸輔¹
¹国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、
²国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部、
³国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科

1-P5-6 **自殺企図による右前頭葉眼窩面、左外側側頭葉の脳挫傷後に強迫性障害を
発症した一例**

○吉岡 大祐、山梨 豪彦、林 皓章、岩田 正明
鳥取大学医学部附属病院精神科

14:25-15:25 **一般演題（ポスター）6**
児童・思春期（2）

司会： 中島 公博 医療法人社団五稜会病院

1-P6-1 **千葉県こども病院精神科研修に関する、研修修了者の意識調査**

○飯田 太郎¹、安藤 咲穂¹、河岸 嶺将²
¹千葉県こども病院、²千葉県総合救急災害医療センター

- 1-P6-2 時間知覚と時間管理から考える成人の発達障害
-2. 臨床現場で役立つ時間知覚の測定について -
○大田垣 昂、藤田 宗久、角谷 陽平、高山 英也、榎戸 芙佐子、谷野 亮一郎、谷口 園子、
米本 智美、関 芙美、松田 文恵
谷野呉山病院
- 1-P6-3 児童精神科領域の訪問診療、訪問看護の実践と可能性
○岡 琢哉^{1,2}、竹内 翔吾¹、塩見 祐子²、高橋 翔¹
¹医療法人社団あやなり、²株式会社カケミチプロジェクト
- 1-P6-4 思春期の自閉スペクトラム症男児と歩んだ5年間の治療経過について
○箱島 有輝、酒匂 雄貴、板垣 琴瑛、山本 啓太、稲崎 久美、水本 有紀、宇佐美 政英
国立国際医療研究センター国府台病院
- 1-P6-5 児童精神科クリニックにおける不登校の小学3年男児と両親への短時間精神療法
の実践
○宋 大光
宋こどものこころ醫院

15:40-16:40 一般演題（ポスター）7
ECT・TMSなど（1）

司会： 諏訪 太郎 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

- 1-P7-1 マイクロアレイ解析を用いた治療抵抗性うつ病患者におけるrTMSによるミクログリア様細胞の変化
○立石 洋¹、國武 浩子¹、村川 徹¹、白石 匠¹、小嶋 亮平¹、菊地 潤²、國武 裕¹、
門司 晃^{1,3}、溝口 義人¹
¹佐賀大学医学部附属病院精神神経科、²ひまわりクリニック、³若久病院
- 1-P7-2 電気けいれん療法において遷延性発作後に遅発性発作から重積状態を来した2例
○長尾 達憲¹、大盛 航^{1,2}、長尾 崇弘¹、増田 直哉¹、小林 弘典¹、町野 彰彦¹
¹独立行政法人国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター精神科、²広島大学病院精神科
- 1-P7-3 精神科単科病院における電気けいれん療法に際して Rocuronium 血管外漏出が生じた一例について
○瀬戸 秀文¹、木下 侑紀¹、半田 美香¹、日野 沙織¹、野口 紗織²、重松 淳哉¹
¹福岡県立精神医療センター太宰府病院精神科、²福岡大学筑紫病院
- 1-P7-4 当院におけるrTMS療法導入後のまとめ
○久保 なな¹、有馬 那帆¹、佐々木 彩¹、木山 典子^{1,2}、助川 鶴平¹、渡辺 憲¹
¹渡辺病院、²鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野



1-P7-5 電気けいれん療法開始早期に解離性運動症状が消退した双極性障害の一例

○山田 洸大、小高 文聰、品川 俊一郎、石井 洵平、中澤 亜美、森 啓輔、村瀬 進真、山口 桜子、繁田 雅弘

東京慈恵会医科大学精神医学講座

1-P7-6 精神科有床総合病院内における m-ECT 施行状況の変遷

○工藤 智博^{1,2}、富岡 大^{1,2}、平川 泰丈¹、沖野 和磨^{1,2}、幾瀬 大介^{1,2}、佐藤 裕一^{2,3}、葛井 真守^{1,2}、熊崎 栞^{1,2}、石原 里彩^{1,2}、平田 貴之^{1,2}、堀口 爽^{1,2}、笠井 隆央^{1,2}、佐々木 俊平^{1,2}、下野 純^{1,2}、石井 宏明^{1,2}、堀内 健太郎¹、山田 浩樹^{1,2}、岩波 明¹、稲本 淳子^{1,2}

¹ 昭和大学医学部精神医学講座、² 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター、

³ 昭和大学横浜市北部病院総合サポートセンター

15:40-16:40 一般演題（ポスター）8
コンサル・リエゾン（3）

司会：石井 貴男 札幌医科大学保健医療学部作業療法学科

1-P8-1 グリホサートカリウムを自殺目的に使用し回復後、炭酸リチウム使用で希死念慮が軽快した双極性うつ病の1例

○坂田 幹樹^{1,2}、鍛冶 有登²、篠崎 正博²

¹ たいようクリニック、² 岸和田徳洲会病院

1-P8-2 精神・透析合併入院の際、『透析見送り』要望が判明し、家族が精神科医の臨床倫理的関わりを求めた一症例

○高島 宗也¹、武田 俊信²

¹ 明和会西八王子病院、² 龍谷大学

1-P8-3 疼痛診療における整形外科医のデュロキセチン処方行動と精神神経系副作用について

○佐々木 史¹、西本 武史²、武村 尊生³

¹ 市立函館病院精神神経科、² 函館五稜郭病院緩和ケア科・リエゾン精神科、

³ 東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科

1-P8-4 COVID-19に感染後、家族に感染させることを恐れて自殺企図に至った全般不安症の1例

○志賀浪 貴文¹、水野 公仁¹、梅村 智樹¹、倉持 泉¹、小林 清香¹、大賀 公子²、宮脇 優子¹、山邊 歩^{1,3}、恩田 翔平^{1,4}、中島 崇博¹、横山 尚人¹、松木 秀幸^{1,5}、安田 貴昭¹、吉益 晴夫¹

¹ 埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック、² 埼玉医科大学総合医療センター看護部、

³ 社会福祉法人シナプス埼玉精神神経センター、⁴ 杏林大学医学部精神神経科学教室、

⁵ 東日本成人矯正医療センター

1-P8-5 内服できないせん妄患者に対する薬物療法選択

○由田 実沙、栗山 裕、杉田 隆裕、皆尾 望、大賀 健市、和田 健
広島市立病院機構広島市立広島市民病院精神科

1-P8-6 癌の手術に対する精神疾患患者の同意能力評価と多職種介入：
意志決定代諾者のいない統合失調症の一例

○辻野 亮、内田 恵、白石 直、久保田 陽介、明智 龍男
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

15:40-16:40 一般演題（ポスター）9
器質・症状性精神障害（2）

司会：成田 尚 北海道大学病院精神科神経科

1-P9-1 不眠、幻視等を呈した女兒に対して、精神科リエゾン介入により
可逆性後頭葉白質脳症の発見に寄与した症例

○夏山 竜一、大橋 愛子、田山 達之、冠地 信和、熊崎 博一
長崎大学病院精神科神経科

1-P9-2 幻覚・妄想で発症した右前頭葉脳梗塞の一例

○岩見 佳織、山田 成人、林 真莉子、中村 知、峯田 健司、窪田 悠希、池上 美和、
細田 益宏、中野谷 貴子
東京都立広尾病院神経科

1-P9-3 統合失調症との鑑別に難渋した SLE の一例

○中村 康司¹、冠地 信和¹、大橋 愛子¹、田山 達之¹、大塚 寛朗²、來留島 章太³、
熊崎 博一¹
¹長崎大学病院精神科神経科、²長崎大学病院脳神経内科、³長崎大学病院リウマチ・膠原病内科

1-P9-4 脳挫傷後の精神運動興奮にレベチラセタムの影響が疑われた1例

○齋藤 隼人¹、肥田 道彦¹、福川 摩耶¹、稲本 絵里¹、和田 佐保^{1,2}、館野 周³
¹日本医科大学多摩永山病院精神神経科、²国立がん研究センターがん対策研究所がん医療支援部、
³日本医科大学付属病院精神神経科

1-P9-5 多様な愁訴から身体表現性障害を疑われたが、その後、神経学的異常所見を
認めたと一例

○江畑 琢矢、井原 裕
獨協医科大学埼玉医療センター

1-P9-6 運動症状に先行して血統妄想が出現したパーキンソン病の1例

○熊谷 亮
医療法人社団踏青会下総病院精神科



16:40-17:40 一般演題（ポスター）10
ECT・TMS など（2）

司会：安田 和幸 山梨大学医学部精神神経医学講座

1-P10-1 Zotepine により電気けいれん療法のけいれん発作の質が改善した1例

○松岡 照之^{1,2}、綾仁 信貴²、門脇 友輝³、坂本 優也¹、上田 一貴¹、野原 千鶴¹、
長尾 拓樹¹、横井 崇人¹、西田 誠司¹、山野 純弘¹

¹ 独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター精神科、

² 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、

³ 独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター初期臨床研修医

1-P10-2 終末期において修正型電気けいれん療法を施行した1例

○三浦 雅博、松村 美希、七澤 英毅、早川 達郎

国立国際医療研究センター国府台病院

1-P10-3 脳波異常・認知機能障害による ECT の中止歴とたこつぼ症候群を既往に有する
老年期うつ病症例への ECT の施行

○重橋 壘、西村 淳、新保 裕希、馬渡 星示、松崎 公信、岩永 英之、橋本 学

国立病院機構肥前精神医療センター

1-P10-4 rTMS を施行前後で終夜脳波を測定したうつ病患者 3 症例

○佐野 祥子¹、亀田 理央¹、和田 大和^{1,2}、沢田 佐織³、戸田 真由美³、黒田 健治¹

¹ 阪南病院、² やまとメンタルクリニック、³ 阪南病院検査科

1-P10-5 神奈川県立精神医療センターにおける近年の修正型電気けいれん療法の実際

○北川 理映子¹、吉裕 尚彦¹、森脇 久視¹、小澤 篤嗣¹、安藤 富男²

¹ 神奈川県立精神医療センター精神科、² 帝京大学医学部附属溝口病院麻酔科

1-P10-6 大学病院における rTMS 診療体制構築の臨床経験

○笠貫 浩史、中川 敦夫、伏屋 研二、橋本 知明、小口 芳世、島内 智子、渡邊 亮、赤羽 彩、
藤塚 優芽、戸邊 友揮、清水 梨々花、樋口 遼太郎、奥野 絵里子、古茶 大樹

聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

16:40-17:40 一般演題（ポスター）11
コンサル・リエゾン（4）

司会：井上 真一郎 新見公立大学健康科学部看護学科

1-P11-1 精神科患者における直腸脱手術の取組

○和氣 仁美¹、梅谷 直亨²、田波 秀朗¹、水野 雅文³

¹ 東京都立松沢病院外科、² 河北総合病院消化器外科、³ 東京都立松沢病院精神科

1-P11-2 精神疾患に難治性下部尿路症状を併存した2症例

○萩倉 祥一、佐藤 明信、佐藤 寛一
和合病院

1-P11-3 特異な経過から多飲水の原因として精神症状が疑われた症例

○堀江 阿澄
三芳病院

1-P11-4 腹部のレストレスレッグス症候群の一症例

○堀江 阿澄
館山メンタルクリニック

1-P11-5 90歳でせん妄に引き続き初発したカタトニアの一例

○内野 英幸
村井病院

1-P11-6 うつ病経過中に甲状腺機能の急激な悪化をきたし、自殺企図に至った一例

○蒔田 郁人、近藤 伶央、橋本 博史、白井 豊、細見 和代、白川 治
医療法人尚生会湊川病院

16:40-17:40 **一般演題（ポスター）12**
器質・症状性精神障害（3）

司会：和田 健 広島市立広島市民病院精神科

1-P12-1 統合失調症の既往を有し幻視症状を呈した橋本脳症の一例

○石丸 直樹¹、宮崎 泰²、野村 憲一³、佐久間 寛之¹、本村 啓介¹
¹独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター精神科、
²独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター神経内科、
³独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター内科

1-P12-2 コタール妄想とカプグラ妄想を呈し電気けいれん療法が有効であった抗recoverin抗体陽性脳炎の一例

○野村 樹乃香^{1,2}、赤羽 隆樹²、高橋 なおみ³、小林 良太¹、秋保 正和⁴、鹿間 幸弘³、
能登 契介¹、鈴木 昭仁¹
¹山形大学医学部精神医学講座、²公立置賜総合病院精神科、³公立置賜総合病院神経内科、
⁴公立置賜総合病院放射線部

1-P12-3 肺結核に対するサイクロセリンによって幻覚妄想状態を呈した物質誘発性精神病性障害の一例

○三好 智浩¹、久保田 智香¹、鈴木 純子²、本村 英明²
¹国立精神・神経医療研究センター病院精神科、²国立病院機構東京病院呼吸器内科



1-P12-4 産後うつ病が疑われた CSF1R 関連白質脳症の 1 例

○木村 聡一郎¹、増谷 祥¹、渡辺 晋也¹、三上 昭廣¹、大槻 幸造¹、沼田 直幸¹、堀内 一宏²、石倉 亜矢子³、佐々木 秀直⁴、三國 雅彦¹

¹ 函館渡辺病院、² 市立函館病院脳神経内科、³ 函館中央病院小児科、⁴ 函館中央病院脳神経内科

1-P12-5 精神病症状を伴うパーキンソン病患者に対する電気けいれん療法の有用性

○栗山 裕、杉田 隆裕、由田 実沙、皆尾 望、大賀 健市、和田 健

広島市立病院機構広島市立広島市民病院精神科

1-P12-6 根気がないという主訴で来院したが重度のバセドウ病だった 10 歳代女兒

○藤田 基、藤田 観喜

道玄坂ふじたクリニック